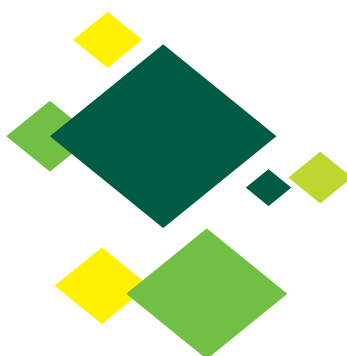


**FIDEA**

ディスクロージャー誌  
2021年 3月期

フィデアホールディングス株式会社  
株式会社荘内銀行  
株式会社北都銀行



## Contents

ごあいさつ	1
企業概要	2
グループ理念	3
グループ経営戦略	4
経営管理体制	7
地域経済活性化に向けた取組状況	13
「フィデアグループSDGs宣言」の実践	20
2021年3月期の業績ハイライト	24
沿革	28
子会社等に関する事項・従業員の状況	30
組織・役員の状況	31
株式等の状況	36
業務案内	39
手数料	40
店舗ネットワーク	42
資料編	46

- 本誌は、銀行法第21条及び第52条の29に基づき作成したディスクロージャー資料です。
- 本誌に記載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。ただし、構成比につきましては、端数を調整して表示しているものを含んでいます。



# ごあいさつ



フィデアホールディングス株式会社 代表執行役社長CEO  
株式会社荘内銀行 代表取締役頭取  
**田尾 祐一**



株式会社北都銀行  
代表取締役頭取  
**伊藤 新**

平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息と、皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

金融機関を取り巻く経営環境は、マイナス金利環境の長期化、少子高齢化の進展、デジタル技術の急速な進展などにより大きく変化し、さらにニューノーマル（新常态となる生活様式）が浸透するなど、その変化のスピードは一層加速しています。

こうした中、グループ第4次中期経営計画「お客さまの知恵袋 信頼され相談される銀行」により、お取引先のニーズにお応えするコンサルティング営業の実践と、法人個人一体営業を担う人材育成に取り組んでいます。2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に対応し地元お取引先に寄り添う活動を徹底する中で、地元県内の事業性貸出が拡大したほか、事業承継やM&Aのご支援の積み上げ、投資信託など資産運用相談の増加につながっています。

2021年4月、新しいグループ経営理念「一人ひとりの情熱と知恵と挑戦で、東北を幸せと希望の産地にします。」を制定いたしました。荘内銀行、北都銀行に共通のこの経営理念には、様々な課題を抱える東北を再び輝かせたい、持ち得る最高の知恵を出し合い、情熱と挑戦の姿勢を共有し、目の前のお客さまの未来をより良いものにするために考え行動していこうという、私たちの決意が込められています。

地域やお客さまに寄り添い、その課題やニーズにお応えし、コロナ後を見据えたソリューション提案の実践により、お客さまの成長と地域経済の持続的な発展に引き続き貢献してまいります。一層のご支援とご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2021年7月

## 企業概要

# フィデアホールディングス株式会社

創立年月日	2009年10月1日
本店所在地	宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号
代表者	代表執行役社長 CEO 田尾 祐一
事業内容	銀行その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理、その他銀行法により銀行持株会社が営むことのできる業務、ならびにそれに付帯または関連する業務
資本金	180億円
決算期	3月31日
連結従業員数	1,662名
上場取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード 8713）

## 庄内銀行

創業年月日	1878年12月1日（第六十七国立銀行）
本店所在地	山形県鶴岡市本町一丁目9番7号
代表者	代表取締役頭取 田尾 祐一
資本金	85億円
総資産	1兆6,727億円
貸出金残高	8,704億円
預金等残高	1兆3,084億円
純資産	677億円
本支店・出張所数	87カ店 （山形県内64カ店、 宮城県内15カ店、福島県内2カ店、 東京都4カ店、秋田県1カ店、その他1カ店）
従業員数	692名

(注) ブランチンブランチ方式（1つの店舗内で複数の支店が営業する方式）による統合店を除くと、本支店・出張所数は49カ店です。

## 北都銀行

創業年月日	1895年5月3日（株式会社増田銀行）
本店所在地	秋田県秋田市中通三丁目1番41号
代表者	代表取締役頭取 伊藤 新
資本金	125億円
総資産	1兆5,561億円
貸出金残高	8,748億円
預金等残高	1兆3,480億円
純資産	587億円
本支店・出張所数	86カ店 （秋田県内82カ店、 東京都、山形県、宮城県各1カ店、 その他1カ店）
従業員数	652名

(注) ブランチンブランチ方式（1つの店舗内で複数の支店が営業する方式）による統合店を除くと、本支店・出張所数は51カ店です。

(2021年3月末現在)

# グループ理念

## グループ経営理念

### 一人ひとりの情熱と知恵と挑戦で、 東北を幸せと希望の産地にします。

東北に誇りを持つ。東北で暮らすことが憧れになる。  
そんな未来を、一人ひとりのアイデアとアクションで  
生み出していきます。広げていきます。

東北に根差して、東北の人たちと育む新しい価値を  
人々へ、世の中へ。

もう、何気なく夢見るだけでは、つくりたい未来には届かない。  
大切なのは行動すること。  
地域のいちばんのファンとして、サポーターとして、  
いつだって同じ目線に立ちながら。  
ときには金融機関らしくない、思い切ったチャレンジも取り入れて。

一人ひとりが、考えます。動きます。  
世界のどこよりも幸せと希望が実る、  
東北の未来のために、いま。

## 行動指針 Future7

- 前例にとらわれず、決して立ち止まらず、常に新しいことに挑み続けます。
- お客さまの夢を自分ごとにし、実現のために情熱をもって考え、動きます。
- 向上心・探究心・好奇心を心掛け、常に自らをアップデートしていきます。
- 高水準のコンサルティングで、地域に幅広い知見とアイデアを提供します。
- 一人ひとりを尊重し、個々の成長や挑戦を後押しできる組織を目指します。
- よく聞き、よく話す、声が闊達に飛び交う風通しのよい職場をつくります。
- 法令遵守と高い倫理観に基づき、地域の一員として責任ある行動をします。

2021年4月、荘内銀行及び北都銀行に共通の、新しいグループ経営理念を制定いたしました。両行が県境をまたがる経営統合を果たし、フィデアグループとしてスタートして以来、10年以上が経過し、この間に、人口減少や高齢化の進展、震災からの復興のほか、新型コロナウイルスの感染拡大など、地方銀行を取り巻く経営環境は大きく変化しています。

このような中で、若手・中堅行員のプロジェクトチーム、そして役員及び取締役会などにより、フィデアグループの次の10年につながるミッションやバリュー、ビジョンについて議論した内容をもとに、理想とする姿、目指すべき姿を経営理念に表しました。

# グループ経営戦略

## 中期経営計画

### 第4次中期経営計画

### お客さまの知恵袋 信頼され相談される銀行

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域に密着した広域金融グループとして、地域の発展に貢献し続ける</li> <li>■将来にわたる安定した健全性を確保し、地域における金融仲介機能を十分に発揮する</li> <li>■従業員のモチベーションが上がる、ESが重視される、働きがいがあり従業員の成長をしっかりと応援する企業風土を実現する</li> </ul>
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>① <b>トップライン収益の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内事業性貸出基盤の拡大とこれを梃子にした役務収益力の強化</li> <li>● 市場収益基盤の再構築</li> </ul> </li> <li>② <b>経費構造の改革</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業地域における選択と集中を通じたエリア戦略の継続的な見直しと営業店事務人員の効率化</li> <li>● 徹底した本部統合など両行業務の完全一本化を通じた聖域なき経費削減</li> </ul> </li> <li>③ <b>働きがいのある職場づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員が能力を最大限に発揮できる魅力ある職場環境づくり</li> </ul> </li> <li>④ <b>SDGs/ESGへの取り組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● フィデアグループSDGs宣言の実践</li> </ul> </li> </ol>
目標指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最終年度である2022年度の目標水準</li> <li>親会社株主に帰属する当期純利益 30億円以上</li> <li>その前提として「顧客部門業務純益(*)」の黒字化</li> <li>※ 長期的な目線として、公的資金返済後の連結自己資本比率 9%台</li> </ul> <p style="text-align: right; font-size: small;">(*) 顧客部門業務純益＝顧客部門における粗利益－同経費</p>

### 第4次中期経営計画の位置づけ

- 法人個人一体営業の実践、顧客セグメントに基づくコンサルティング営業により県内事業性貸出を拡大。これを梃子に、預かり資産関連や法人役務収益などトップライン収益力を強化。徹底した経費削減により、第4次中計において顧客部門業務純益を黒字化。第5次中計では、与信関係費用を含む顧客部門損益を黒字化。
- 筋肉質な経営体質への転換により、2024年度末までの公的資金返済に向け内部留保を着実に積み上げ。

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
<b>第3次中期経営計画</b> Consulting & Innovation <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンсалティング営業の強化</li> <li>● 法人個人一体営業体制の確立</li> <li>● 営業店事務の改革</li> <li>● 経費構造の改革</li> <li>● 企画部門の一本化</li> </ul>			<b>第4次中期経営計画</b> お客さまの知恵袋 信頼され相談される銀行 <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンсалティング営業の実践によりトップライン収益を強化</li> <li>● 営業店事務人員の効率化とコンサル人材の育成強化</li> <li>● エリア戦略の継続的な見直し</li> <li>● 本部統合を含む更なる一本化追求</li> <li>● 有価証券ポートフォリオの再構築</li> </ul>			<b>第5次中期経営計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 収益力強化と経費削減により顧客部門黒字化</li> <li>● 公的資金返済に向けたリスクアセットコントロールを徹底</li> </ul>		

### 具体的な業務運営

第4次中計 基本方針に基づく具体的な業務運営	
① <b>トップライン収益の強化</b> (顧客部門)	(コンサルティング営業の強化) <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 顧客ニーズをベースとした法人個人一体営業体制を推進し、県内事業性貸出及び非金利収益を増強</li> <li>■ OJTを軸とした人材育成プログラム構築による法人個人一体営業人材の持続的育成</li> <li>■ 専門性の高いコンサルティング人材の育成</li> <li>■ エリア戦略、チャンネル戦略を引き続き見直し、店舗ネットワーク及び人員配置を最適化</li> </ul> (非対面チャンネル提供サービス拡大) <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 非対面チャンネルの利用拡大により事務人員を効率化し、法人個人一体営業への人材配置を充実</li> <li>■ スマホアプリなど非対面ツールやコンタクトセンターの活用による完全非対面取引(ネット、電話、チャットボット)を拡大</li> <li>■ 徹底したペーパーレス化、セルフ化、バック事務削減による営業店事務の効率化</li> </ul>
② <b>経費構造の改革</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各銀行と持株会社の本部の業務集約、拠点集約と本部人員の効率化</li> <li>■ 周辺系システムの統合による営業店事務及び本部業務の完全一本化</li> <li>■ グループ横断の投資委員会による投資計画の継続的な見直し</li> </ul>
③ <b>働きがいのある職場づくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 従業員の夢の実現を後押しする、人事制度、働き方改革、福利厚生等多面的な見直し</li> <li>■ ES(従業員満足)追求を起点にCS(顧客満足)向上</li> </ul>
④ <b>SDGs宣言の実践</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SDGs宣言「重点的に取り組む事項」をグループ役職員全員が主体的に実践</li> </ul>

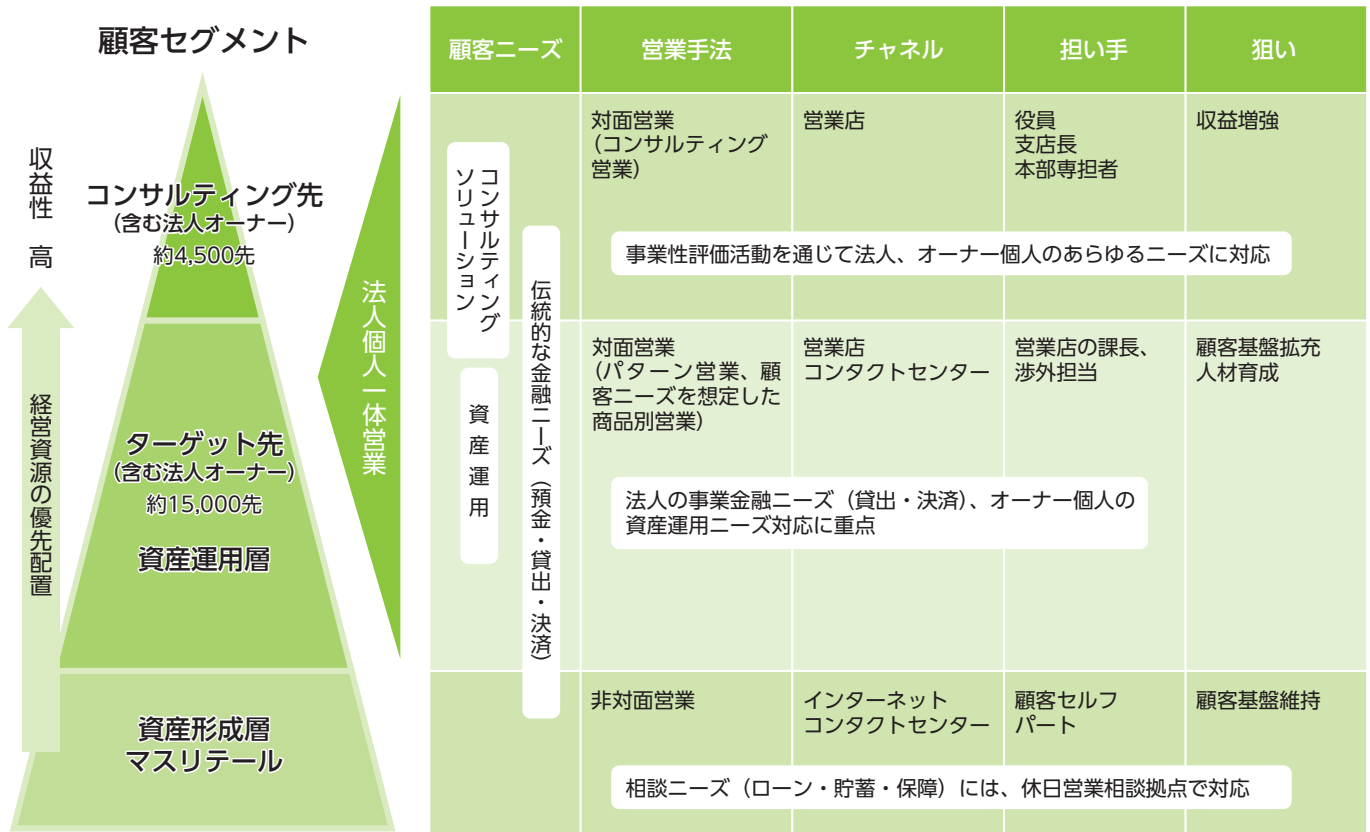
## マーケット戦略に基づく営業推進体制の強化

### ■顧客セグメントに基づき、それぞれの担い手や役割課題を明確化

(コンサルティング先 ⇨ 役員主管により、営業店と本部が一体となった組織営業体制を構築)

(ターゲット先 ⇨ 支店長管理のもと営業店完結型営業を徹底。本部は営業支援ツールなど営業力強化策を提供し支援)

### ■OJT型人材育成により法人個人一体営業を推進



## フィデアグループ SDGs宣言



■フィデアグループは、国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、地域課題の解決に向けた取り組みを通じて、地域社会の持続的な発展を目指します。

■フィデアグループの役職員全員が、地域と向き合い次代につなぐ取り組みを主体的に実践し、SDGsの達成に取り組めます。

### 重点的に取り組む事項

#### 1. 地域経済の持続的な成長への取り組み

地域やお取引先に寄り添い、その課題やニーズにお応えする取り組みを通じて、地域経済の持続的な成長に貢献します。



#### 2. 持続可能な地域環境の実現

環境に配慮した経営の実践を通じて地球温暖化や気候変動に対応し、持続可能な地域環境の実現に貢献します。



#### 3. 従業員が能力を発揮できる魅力ある職場づくり

全ての従業員の能力を生かす職場環境を整備し、働きがいや従業員満足の向上に取り組めます。

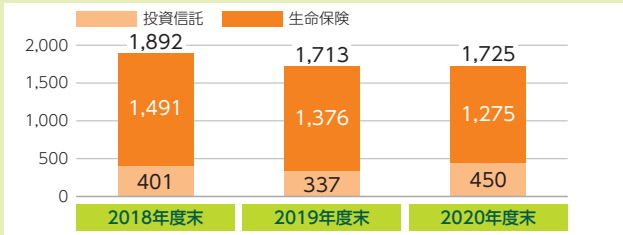


## お客さま本位の業務運営方針に基づく取り組み状況について

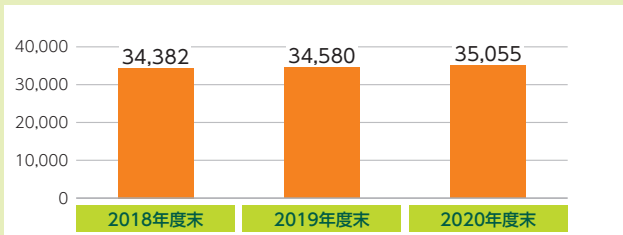
フィデアグループは、お客さまの安定的な資産形成及び運用に資する金融サービスの提供を実現するため、①お客さまの利益の追求 ②お客さまにふさわしいサービスの提供 ③重要な情報の分かりやすい提供 ④利益相反の適切な管理 ⑤社内体制・社員教育の充実を掲げた『お客さま本位の業務運営方針』を定め、実践しております。

### 荘内銀行

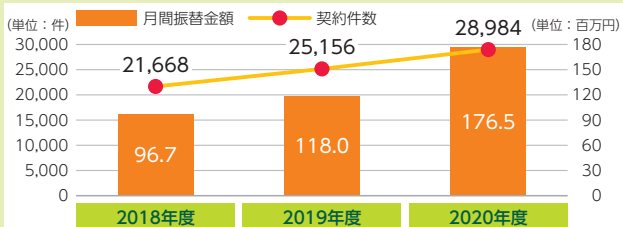
投資信託・生命保険契約残高 (単位：億円)



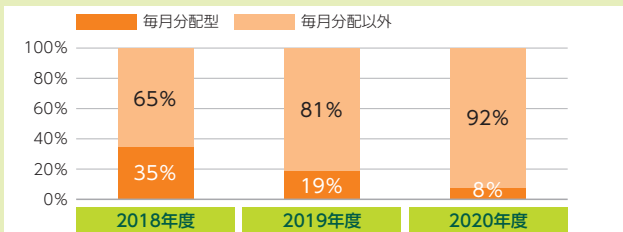
投資信託口座数 (単位：口座)



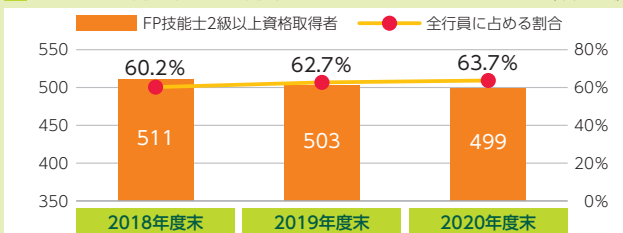
積立投信契約件数・月間振替金額



毎月分配型投資信託販売比率

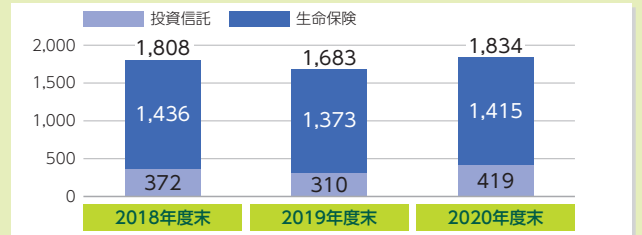


FP資格取得者数・取得率 (単位：人)

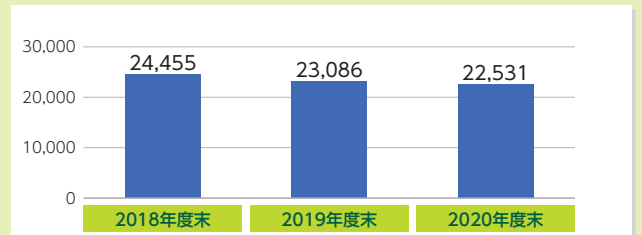


### 北都銀行

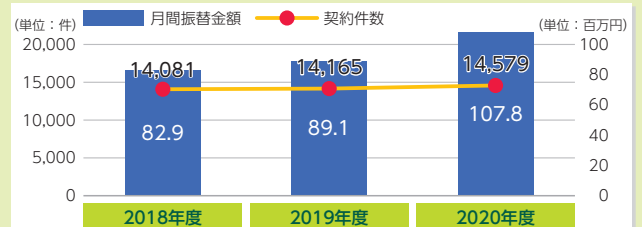
投資信託・生命保険契約残高 (単位：億円)



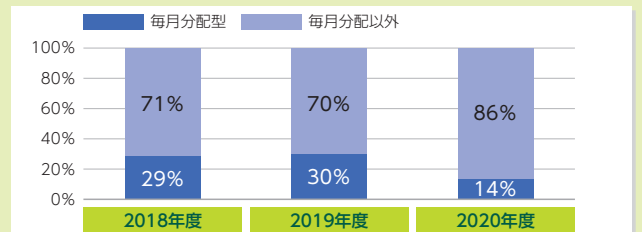
投資信託口座数 (単位：口座)



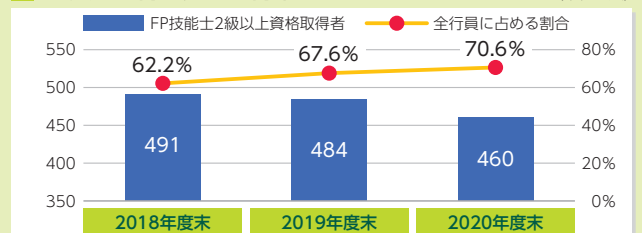
積立投信契約件数・月間振替金額



毎月分配型投資信託販売比率



FP資格取得者数・取得率 (単位：人)

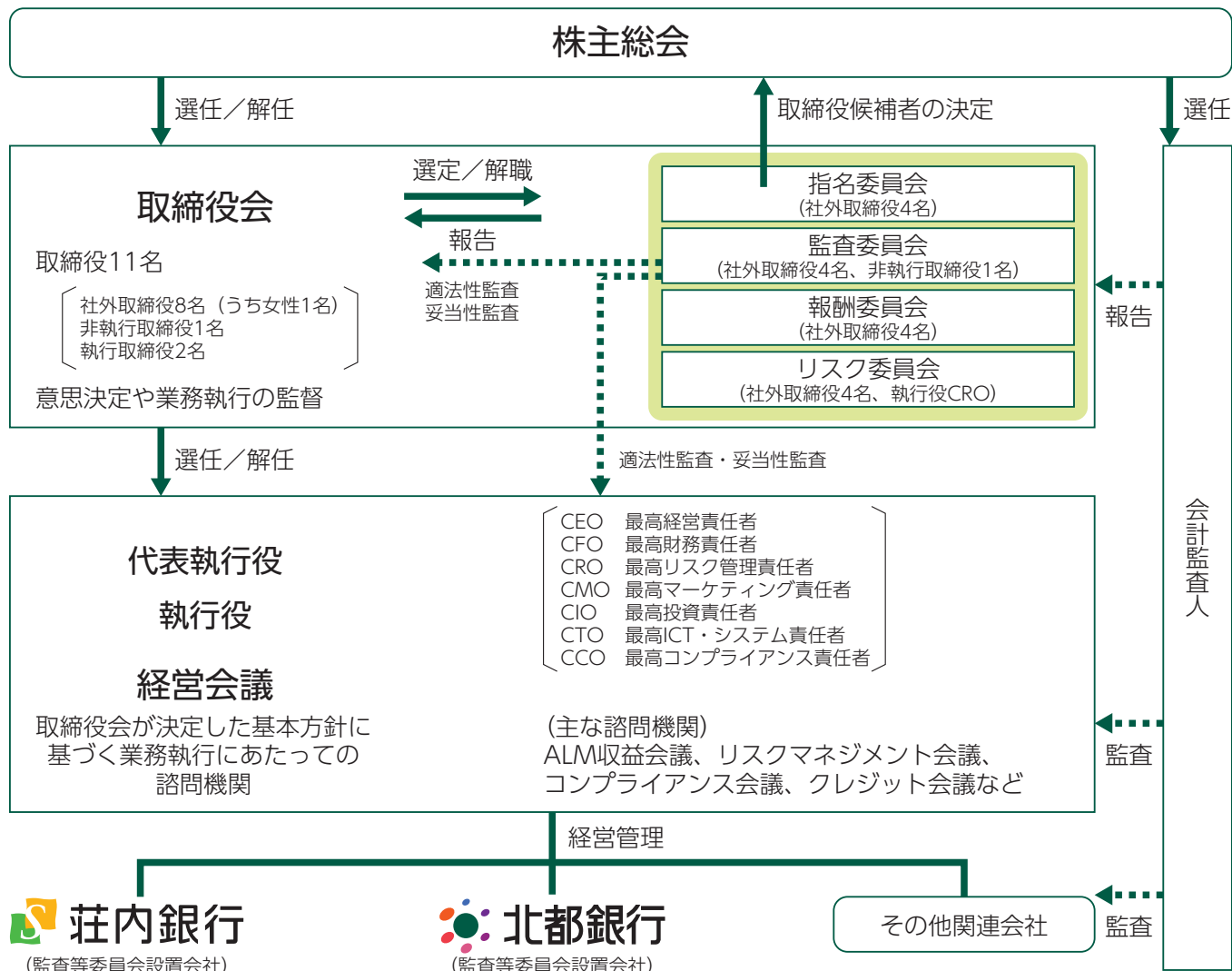




# 経営管理体制（フィデアホールディングス、荘内銀行、北都銀行）

## コーポレート・ガバナンス体制

**FIDEA** フィデアホールディングス株式会社（指名委員会等設置会社）



## コーポレート・ガバナンスの状況

### (1) コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図る観点から、意思決定の透明性及び公正性を確保するとともに、保有する経営資源の有効な活用と迅速果断な意思決定により経営の活力を増大させることが、コーポレートガバナンスの要諦であると考え、コーポレートガバナンスの充実に取り組んでおります。

### (2) 現状のコーポレートガバナンス体制を選択している理由（フィデアホールディングス）

当社は、設立当初から会社組織を指名委員会等設置会社としております。指名委員会等設置会社では、監督と業務執行が分離されることでガバナンス態勢がより一層強化されるとともに、取締役会から執行役に業務執行の決定権限が大幅に委譲されることにより、迅速な業務執行が可能と

なります。また、社外取締役が過半数を占める「指名委員会」「監査委員会」「報酬委員会」が取締役人事及び役員報酬の決定並びに監査を実施するため、経営の透明性が向上いたします。

### (3) 企業統治の体制の概要等（フィデアホールディングス） イ. 会社の機関の内容

当社は、指名委員会等設置会社とし、監督と業務執行を分離することでガバナンス態勢を一層強化する一方、取締役会から執行役に業務執行の決定権限を大幅に移譲することにより、迅速な業務執行体制の構築を図っております。また、社外取締役が過半数を占める「指名委員会」「監査委員会」「報酬委員会」が取締役の選解任及び役員報酬の決定並びに監査を実施し、経営の透明性を高めております。当社の意思決定、執行及び監査にかかる

# 経営管理体制（フィデアホールディングス、荘内銀行、北都銀行）

組織は以下のとおりです。

## i 取締役会

取締役会は、取締役11名、うち社外取締役8名（うち女性1名）により構成され、社外取締役である西堀利が議長を務めております。取締役会は、その他のメンバー取締役兼代表執行役社長田尾祐一、取締役伊藤新、取締役（非業務執行）富樫秀雄、社外取締役小川昭一、社外取締役福田恭一、社外取締役堀裕、社外取締役近野博、社外取締役布井知子、社外取締役廣瀬渉、社外取締役甲斐文朗で構成されており、法令で定められた事項や経営の基本方針及び経営上の重要事項に係る意思決定を行うとともに、取締役及び執行役の職務の執行状況を監督し、原則として毎月1回開催しております。

## ii 指名委員会、監査委員会、報酬委員会

指名委員会は、取締役4名、うち社外取締役4名により構成され、株主総会に提出する取締役の選任及び解任に関する議案の内容を決定しております。指名委員会は、1年に1回以上、必要に応じて随時開催しております。

監査委員会は、取締役5名、うち社外取締役4名、非業務執行取締役1名により構成され、取締役及び執行役の職務執行の監督のほか、監査方針、監査計画、株主総会に提出する会計監査人の選解任議案等の内容を決議しております。監査委員会は、原則として毎月1回開催しております。

報酬委員会は、取締役4名、うち社外取締役4名により構成され、取締役及び執行役が受ける個別の報酬等の内容について決議しております。報酬委員会は、1年に1回以上、必要に応じて随時開催しております。

## iii リスク委員会

取締役会における任意組織としてリスク委員会を設置しております。リスク委員会は、委員長である執行役CROと委員である4名の社外取締役により構成され、各種リスクに対する業務執行状況や今後構築を図っていくリスクアペタイト・フレームワークの企画運営の検証等を行っております。リスク委員会は、事務局をリスク統括グループとし、原則として四半期に1回開催しております。

## iv 経営会議

経営会議は、取締役会が決定した基本方針に基づく業務執行にあたっての代表執行役社長の諮問機関として、執行役で構成しております。当社及び当社グループ全体の業務執行に係る重要事項について決定等を行っております。経営会議は、原則として毎週1回開催しております。

## ロ. 内部統制の基本方針

当社は、当社グループが法令・定款に合し、かつ、業務の適正を確保するために、次のとおり内部統制の整備・強化に取り組んでおります。

### i 当社の役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

(1) 当社は、役職員の職務の執行が法令及び定款に適合するよう、企業理念、コンプライアンス態勢規程等を定め、役職員全員がこれを遵守する。

(2) 当社は、法令等遵守態勢の整備・強化等を図るため、コンプライアンス会議を設置し、法令等遵守に係る十分な審議を行い、法令等遵守態勢の充実・強化を図る。

(3) 当社は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で臨むとともに、反社会的勢力との取引を遮断するため、当該情報を一元管理・共有し、警察等の外部専門機関とも連携し、組織全体として対峙する体制を整備する。

(4) 役職員は、法令等違反又はその疑いのある行為等を発見したときは、速やかに所管部署に報告する。

### ii 当社の執行役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

(1) 当社は、各種議事録のほか執行役の職務の執行にかかる文書を、社内規程等に基づき適切に保存及び管理を行う。

(2) 当社は、情報資産の安全対策の基本方針としてセキュリティポリシーを定める。

### iii 当社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制

(1) 当社は、業務において保有するすべてのリスクの管理に関する基本方針としてリスク管理方針を定め、社内に浸透を図る。

(2) 当社は、定期的なリスクの全体状況を把握するとともに、各種リスクの測定及び対応方針の検討を行う。また、リスクマネジメント会議にて、リスク管理に係る十分な審議を行い、統合的なリスク管理態勢の運営強化を図る。

(3) 業務部門から独立した内部監査部門は、各部門の業務運営状況を監査し、各種リスク管理態勢の適切性・有効性の検証を行い、取締役会はその結果の報告を受ける。

### iv 当社の執行役の職務の執行が効率的におこなわれることを確保するための体制

(1) 当社は、取締役会において定めた経営の基本方針に基づき、執行役が委任を受けた業務の執行を行う。執行役の職務は、執行役規程、付議基準及び組織規程・業務分掌に基づき業務執行責任を明確化し、相互牽制を図り、適正な職務の遂行がおこなわれる体制とする。

(2) 当社は、迅速かつ質の高い経営執行を確保するための体制として、社長の諮問機関である経営会議を設置し、取締役会から委任された重要な業務執行に係る具体的事項について十分な審議を行う。

### v 当社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

(1) 当社グループの健全かつ円滑な運営を行うため、グループ経営管理規程を定める。また、グループ会社の運営を管理する部門を設置する。

- (2) 当社は、子会社等への不当な要求等を防止するための体制を強化する。
- (3) 当社は、子会社等の事業内容の定期的な報告を受けるとともに、重要な案件についての事前協議を適正に行う。

**vi 当社の監査委員会の職務を補助すべき取締役及び従業員に関する事項**

- (1) 監査委員会の職務を補助する従業員を配置した場合、その従業員は監査委員会又は特定監査委員の指示に従い、その職務を行う。
- (2) 監査委員会の職務を補助する従業員にかかる人事異動、人事評価、懲戒処分等に関する事項は、事前に特定監査委員の同意を得る。

**vii 当社の監査委員会への報告に関する体制**

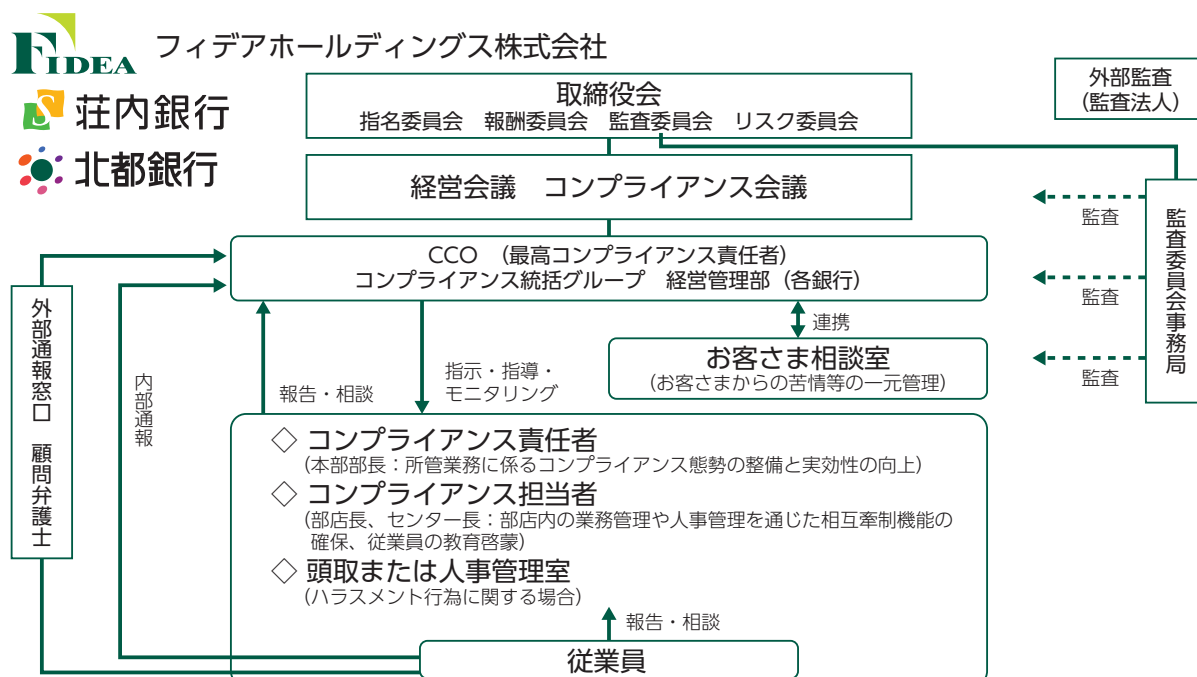
- (1) 執行役及び所管部署は、会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実を発見したときは、直ちに監査委員へ報告する。
- (2) 監査委員会は、監査委員会規程等に基づき、必要に応じ、いつでも役職員に報告を求めることができるものとする。
- (3) 監査委員会は、監査委員会規程等に基づき、必要に応じ、いつでも子会社等の役職員に報告を求めることができるものとする。
- (4) 監査委員会へ報告をした者について、当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを行うことを禁止する。

**viii その他当社の監査委員会の監査が実効的におこなわれることを確保するための体制**

- (1) 監査委員会は、監査委員会規程等に基づき、取締役会及び経営会議のほか、重要な意思決定の過程及び業務執行状況を把握するため、重要な会議に出席できることとする。
- (2) 監査委員会は、代表執行役及びCEO（最高経営責任者）・CFO（最高財務責任者）・CRO（最高リスク管理責任者）・CMO（最高マーケティング責任者）・CIO（最高投資責任者）・CTO（最高ICT・システム責任者）・CCO（最高コンプライアンス責任者）と定期的に会合を持ち、また、会計監査人と緊密な連携を保ち、積極的に情報交換を行い、実効的な監査に努めることとする。
- (3) 監査委員がその職務の執行について、当社に対し、費用の前払い等の請求をしたときは、担当部署において審議の上、当該請求に係る費用等が当該監査委員の職務の執行に必要でないと認められた場合を除き、速やかに当該費用等を処理する。

# 経営管理体制（フィデアホールディングス、荘内銀行、北都銀行）

## コンプライアンス態勢



当社グループでは、業務の健全かつ適切な運営を通じて、地域経済の発展に貢献するとともに、法令等遵守を重んじる企業風土醸成のために、法令等遵守方針として基本方針、法令等遵守態勢整備の徹底、遵守方法を定め、法令等遵守を経営の最重要課題のひとつとして取り組んでおります。

当社は、子銀行から定期的にコンプライアンスプログラムの進捗状況、訴訟案件、反社会的勢力に関する情報の報告を受けるほか、重要な苦情・トラブル、不祥事件に関する事項、内部通報情報、その他法令等遵守、顧客保護等管

理に関する重要事実については随時報告を受け、改善等を図るべく検討を行う態勢を整備しております。

また、当社グループでは、法令等遵守方針において、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力は断固として排除することにしており、反社会的勢力に対しては当社グループ内外の態勢を整備し、組織として毅然とした態度で臨むことにしております。また、反社会的勢力による不当介入は断固として排除するとともに、反社会的勢力との取引を未然に防止することにしております。

## 金融ADR制度への対応について

荘内銀行と北都銀行は、お客さまからのご相談・ご要望・苦情等について適切な対応を行っております。また、2010年10月1日に金融ADR制度がスタートしたことに伴い、指定紛争解決機関として「全国銀行協会」と契約し、柔軟な解決を図るべく対応を行っております。

### ○全国銀行協会相談室

全国銀行協会相談室は、銀行に関する様々なご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口として、全国銀行協会が運営しています。ご相談・ご照会等は無料です。くわしくは、全国銀行協会のホームページ (<https://www.zenginkyo.or.jp/adr/>) をご参照ください。

また、全国銀行協会相談室がお客さまから苦情の申出を受け、原則として2か月を経過してもトラブルが解決しない場合には、「あっせん委員会」をご利用いただけます。くわしくは全国銀行協会相談室にお尋ねください。

### 【ご相談・ご要望・苦情等受付相談窓口】

◎株式会社 荘内銀行 お客さま相談室  
フリーダイヤル 0120-019-874  
(受付時間：平日9時～17時)

◎株式会社 北都銀行 お客さま相談室  
フリーダイヤル 0120-491-044  
(受付時間：平日9時～17時)

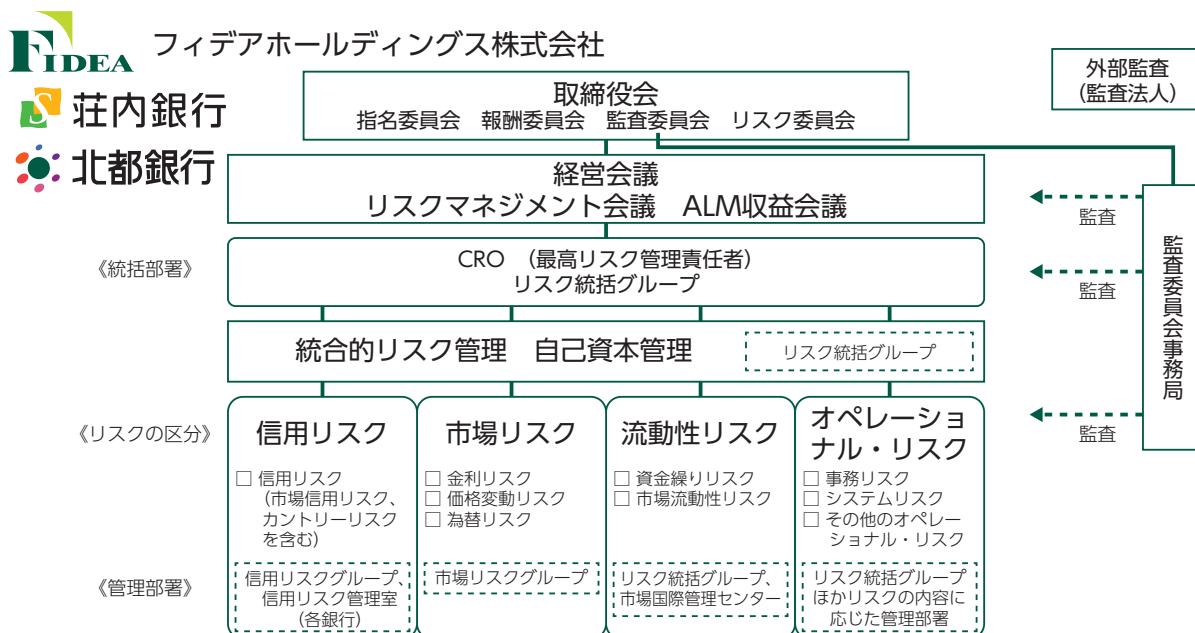
### ◎全国銀行協会相談室



電話番号 0570-017109  
または 03-5252-3772  
(受付時間：平日9時～17時)  
全国銀行協会は銀行法及び農林中央金庫法上の指定紛争解決機関です。

# 経営管理体制（フィデアホールディングス、荘内銀行、北都銀行）

## リスク管理態勢



当社グループでは、取締役の積極的な関与のもと内部管理態勢の充実・強化を図るとともに、リスク管理を重視する企業風土の醸成に努めており、当社グループ全体のリスク管理態勢の最適化を図りながら、子銀行の業務の健全性確保を通じてグループ全体の健全性確保に努めております。

当社のリスク管理体制は、CRO（最高リスク管理責任者）のもと、リスク統括グループ、市場リスクグループ、信用リスクグループ、事務企画グループ及びICT第一企画グループを設置し、各種リスクに機動的に対応する体制としております。子銀行に対する経営管理としては、リスク管理業務を適切かつ迅速に遂行するため、当社と子銀行及びグループ企業間の指示、報告及び協議のルールを明確化しております。

当社グループでは、リスクは収益の源泉であるとの観点から、収益性や効率性を強く意識した運営を志向し、各種リスクの規模及び特性に応じた最適なポートフォリオの構築と収益の確保を目指しております。また、社会・環境問題をはじめとするサステナビリティ（持続可能性）を巡る課題への対応も重要なリスク管理の一部であると認識し、適確に対応してまいります。

加えて、管理すべきリスクを信用リスク、市場リスク、流動性リスク及びオペレーショナル・リスク（事務リスク、システムリスク及びその他のオペレーショナル・リスク）に区分及び特定し、統括的リスク管理、自己資本管理とあわせ、それぞれのリスクの定義と管理基本方針及び管理規程を制定しております。

各リスクの定義及び管理態勢は次のとおりです。

### i 統括的リスク管理

統括的リスク管理とは、当社グループ各社が直面するリスクに関して、それぞれのリスク・カテゴリー毎に評価したリスクを総体的に捉え、経営体力（自己資本）と比較・対照し、それに見合った適切なリスク管理を行うことをいいます。リスク対比の収益性を高めていくため、リスク・カテゴリー別のリスクを総体的に捉え、リスクの洗い出し、継続的なモニタリング、評価・分析、リスク管理態勢の高度化に向けた改善活動等を通して、適切なリスク管理を行っております。

### ii 自己資本管理

自己資本管理とは、自己資本比率の算定、自己資本充実度の評

価及び自己資本充実に関する各種施策を実施することをいいます。当社グループの健全性確保、収益性向上の観点から、業務やリスクの規模・特性に見合った自己資本を将来にわたって維持・向上させていくため、資本政策を含めた適切な自己資本管理態勢を整備しております。また、法令等に定める自己資本の充実度に関する情報開示を適時適切に行っております。

### iii 信用リスク管理

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化等により、資産（オフ・バランス資産を含む）の価値が減少ないし消失するなどの損失を被るリスクをいいます。個々の信用リスクの度合いを適正に把握した上で、信用リスクの分散を基本とした信用集中リスク管理を行い、最適な与信ポートフォリオの構築と資産の健全性及び収益性の向上を図っております。また、個別案件の取組みにあたっては、クレジットポリシーに基づき適切な対応を行い、同一グループ先、同一業種及び同一地域等に貸出が集中しないよう信用リスクの分散を行うとともに、大口与信先等について信用供与等限度額管理を実施しております。

### iv 市場リスク管理

市場リスクとは、金利、株式等の様々な市場のリスク・ファクターの変動により、保有する資産や負債（オフ・バランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスク及び資産負債から生み出される収益が変動し、損失を被るリスクをいい、主に金利リスク、価格変動リスク及び為替リスクに大別して管理しております。当社グループの経営体力、投資スタイル、取引規模及びリスク・プロファイル等に見合った適切な各種リスク限度枠等を設定するとともに、市場取引部門（フロントオフィス）、事務管理部門（バックオフィス）及びリスク管理部門（ミドルオフィス）が相互牽制機能を発揮するなど、適切なリスク管理態勢を整備しております。

### v 流動性リスク管理

流動性リスクとは、運用と調達の間隔のミスマッチの拡大や予期せぬ資金の流出により必要な資金確保が困難になる、又は通常より著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスク（資金繰りリスク）及び市場の混乱等により市場取引が不能に陥ることにより被るリスク、又は通常より著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスク

# 経営管理体制（フィデアホールディングス、荘内銀行、北都銀行）

（市場流動性リスク）をいいます。当社グループの戦略目標、業務の規模・特性及びリスク・プロファイルに見合った適切な資金繰りリスク及び市場流動性リスクについて、流動性リスクの管理を行う部門（流動性リスク管理部門）及び資金繰りの運営を行う部門（資金繰り管理部門）を明確に区分し、適切な相互牽制機能が発揮できる流動性リスク管理態勢を整備しております。

## vi オペレーショナル・リスク管理

オペレーショナル・リスクとは、業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること又は外生的な事象により損失を被るリスクをいい、事務リスク、システムリスク及び風評リスク等のその他オペレーショナル・リスクの3つに大別して管理しております。なお、オペレーショナル・リスクには、業務委託先等に関するリスクを含んでおります。

### (1) 事務リスク管理

事務リスクとは、営業店及び本部の役職員が業務運営上発生するすべての事務において、正確な事務を怠る、あるいはミス・事故・不正等を起こすことにより、当社グループの資産及び信用が損害を被るリスクをいいます。事務水準の維持向上、事故の未然防止を目的として、役職員が法令や定款等のほか、諸規程、事務手続集、事務リスク管理の手引及び通達等に基づき、適正な事務を遂行することを通じて、事務リスクを適切に管理する態勢を整備しております。

### (2) システムリスク管理

システムリスクとは、コンピュータシステムのダウン又は誤作動等、システムの不備等、更にコンピュータの不正使用、顧客データの紛失、破壊、改ざん、漏洩等により、損失を被るリスクをいいます。システムの障害発生を未然に防止するとともに、予期せず発生した障害の影響を極小化するなど、システム

の安全稼働に万全を期しております。あわせて、セキュリティポリシーを策定し、当社グループの情報資産を適切に保護するための内部管理態勢を整備しております。

## (3) 風評リスク等のその他のオペレーショナル・リスク管理

風評リスク等のその他のオペレーショナル・リスクとは、事務リスク、システムリスクを除いたオペレーショナル・リスクで、具体的には以下のリスクをいいます。

### a. 法務リスク

当社グループが関与する各種取引において、法令違反や不適切な契約等による損失の発生並びに法令等遵守態勢の未整備や遵守基準の不徹底等により損失を被るリスク

### b. 人的リスク

人材の流出・喪失、士気の低下、不十分な人材育成、不適切な就労状況・職場環境等により損失を被るリスク

### c. 有形資産リスク

災害・犯罪又は資産管理の瑕疵等の結果、有形資産の毀損や執務環境の低下により損失を被るリスク

### d. 風評リスク

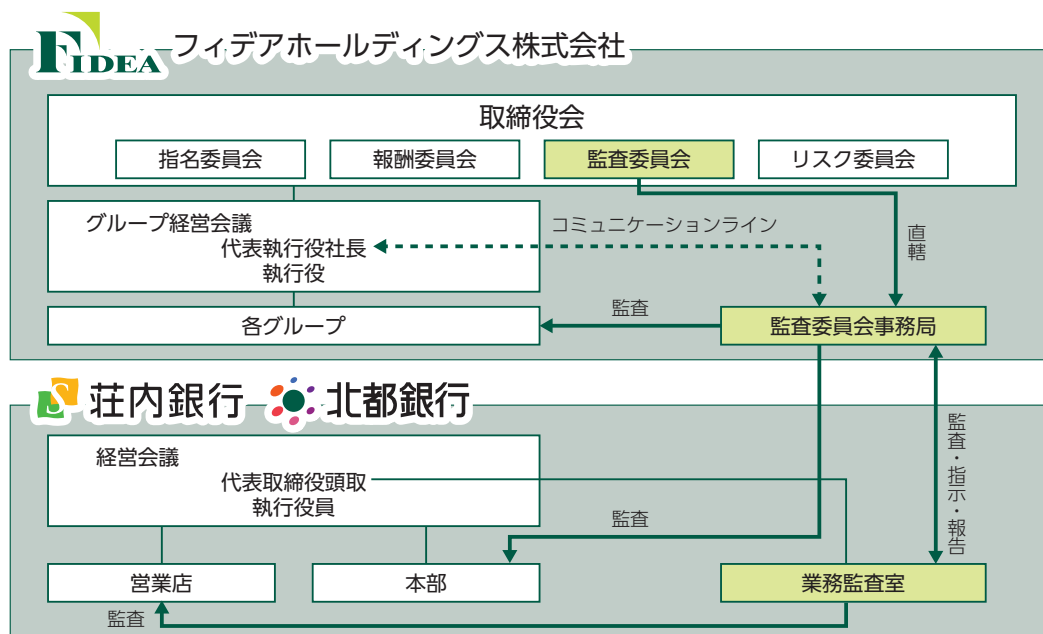
評判の悪化や風説の流布等で信用が低下することにより損失・損害を被るリスク

### e. 危機管理

業務の継続に重大な影響を及ぼすような大規模災害発生等に対応する行内体制の整備

オペレーショナル・リスクに分類するその他オペレーショナル・リスクについて、リスクの顕在化の未然防止及び顕在化後の影響を極小化させるため、各リスクに関連する規程に基づき適切な管理を行っております。

## ※内部監査体制図



内部監査業務を担当する監査委員会事務局を設置し、本部執行部門、その他の子会社等の執行状況に関して執行トップへの報告ルートは残しつつ独立性を強め、取締役会との連携を強化しております。なお、荘内銀行及び北都銀行には業務監査室を残し営業現場の状況及び経営情報が両行トップに報告されるルートを残しております。

監査委員会事務局は、資産査定部門を含め10名で構成され、執行部門の業務執行状況について、法令等遵守、業務効率、財務報告の信頼

性及び資産の保全の観点から内部監査を実施し、客観的立場で改善のための助言や勧告を行っております。その結果は監査報告として経営会議へ報告するほか、四半期毎に取締役会に報告しております。また、監査の事前事後において監査委員長と緊密に連携をとり、監査情報を提供しております。更に、会計監査人との情報交換を不定期に行い、内部統制の状況及びリスクの評価等に関する意見交換を行っております。

## 中小企業の経営支援に関する取組方針

荘内銀行と北都銀行は、地域金融の円滑化による地域活性化を大きな経営課題と捉え、お客さまの経営改善あるいは再生に向けた支援など、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

地域金融機関としての社会的責任、公共的使命に鑑み、地域金融の円滑化を最も重要な役割のひとつであると位置付け、「金融円滑化に関する基本方針」を定め、役職員が一体となって、適切かつ積極的な金融仲介機能の発揮に努めております。

## 基本方針

### 1. 中小企業や個人事業主のお客さまへの対応

中小企業や個人事業主のお客さまから新規の融資や返済条件の変更等の相談・申込みを受けた場合は、事業の特性及び状況等を勘案した適切な審査を実施するとともに、真摯に対応いたします。

### 2. 住宅ローンをご利用のお客さまへの対応

住宅ローンをご利用のお客さまから返済条件の変更等の相談・申込みを受けた場合は、財産や収入の状況等を勘案した適切な審査を実施するとともに、真摯に対応いたします。

### 3. 経営改善に向けた支援

お客さまの経営状況等をきめ細かく把握し、経営相談・経営指導及び経営改善等に向けた適切な支援に努めてまいります。

特に、返済条件の変更等に際して経営改善計画書等を策定した場合には、その進捗状況の把握に努めるとともに、必要に応じて助言等を行うなど引続き適切な支援に努めてまいります。

### 4. 事業価値を適切に見極めるための能力の向上

お客さまの経営実態や成長性及び将来性等の事業価値を適切に見極めるための能力の向上に努めてまいります。

### 5. 顧客説明の徹底

お客さまとの与信取引（貸付契約及びこれに伴う担保・保証契約等）に関し、お客さまの知識、経験及び財産の状況等を踏まえ、理解と納得を得られるよう適切かつ十分な説明をいたします。

なお、やむを得ずお申込みをお断りさせていただく場合にも、理解と納得を得られるよう具体的かつ十分な説明を行います。

### 6. 要望・苦情等への対応

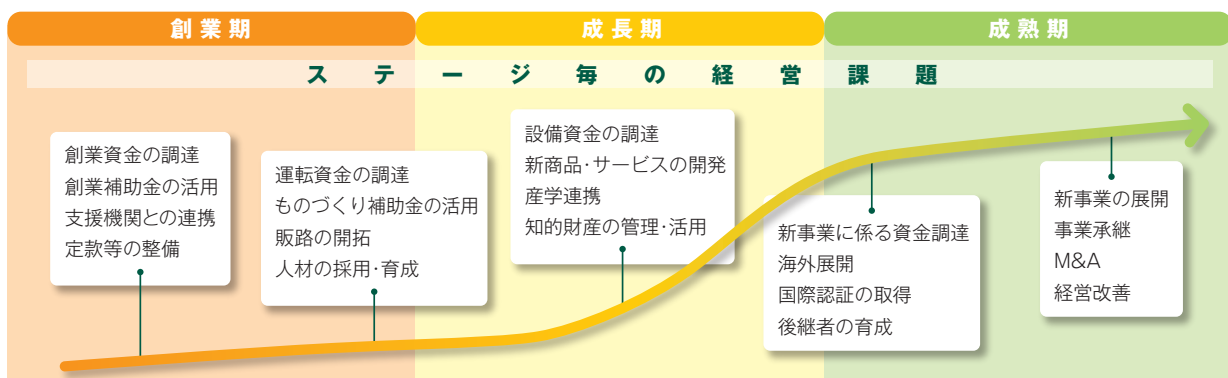
お客さまからの相談、問い合わせ、要望及び苦情等については、信頼を得られるよう真摯に対応するとともに迅速かつ丁寧に対処いたします。

### 7. 他の金融機関等との連携・協力

お客さまからの返済条件の変更等の申込みについて、他の金融機関や政府系金融機関、事業再生ADR解決事業者、地域経済活性化支援機構、信用保証協会、住宅金融支援機構等が関係している場合には、守秘義務を遵守しつつ、お客さまの同意を前提に、緊密な連携と協力を努めます。

## コンサルティング機能の強化

ライフステージに応じた提案力の強化やオーダーメイドの法個一体営業推進により、事業承継、M&Aなど、法人とそのオーナー層の幅広いニーズに一括で対応。お客さま本位の業務運営の継続強化に取り組みながら、お客さまの課題解決と、銀行にとっての収益機会拡大を両立してまいります。特に事業承継・M&Aについては、地域における後継者不足の現状を踏まえ、本部に専門チームを設置し、営業店と連携してお客さまのニーズ対応に取り組んでいます。



## 事業性評価活動の取り組み

コンサルティング営業先及びターゲット先に対して、事業性評価シートを作成することにより、お取引先の事業内容や経営課題を把握し、深度ある活動を目指して、本業支援や事業承継対策等の各種提案を行っております。特に、コンサルティング営業先に対しては、地区担当役員の主体的な関与のもと、お客さまの具体的な課題への対応方針を協議するミーティングを定期的で開催し、営業店、本部及び役員が一体となったチーム営業体制として進めております。

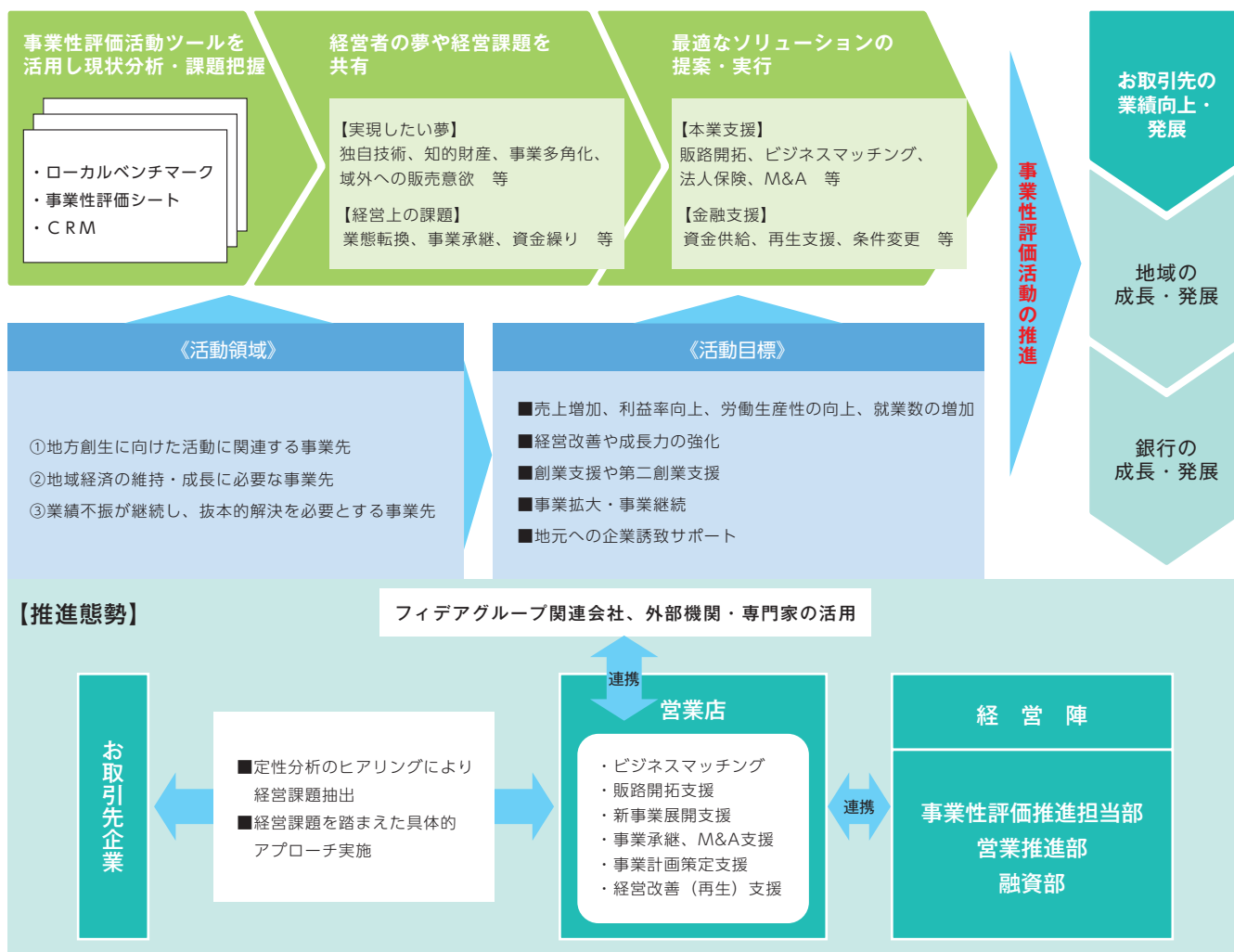
事業性評価活動を通じたお取引先との深耕により、事業承継・資産承継の課題解決、経費削減のための様々な提案、お取引先同士のマッチングによる販路拡大、新たな融資案件の発掘など、お取引先の課題解決に結びついております。

また、法人コンサルティング営業、事業性評価活動における活動プロセスに焦点をあて、好事例となる取り組みを個人、チーム単位で表彰するコンテスト「F-1グランプリ」を開催しております。本グランプリの開催目的は以下の通りです。

- 真の顧客ニーズの聞き取りから、対応までのプロセスなど定性面をしっかりと評価することで、モチベーションの向上、法人コンサルティング営業及び事業性評価活動の活性化、定着化を図る。
- 活動のプロセスも含めた好事例を蓄積、共有することで、活動の質（担い手のコンサルティング能力向上）、量（担い手増加による提案先の増加）の両面での充実を図る。

今後、お取引先の経営課題、ニーズ、夢への理解を一層深め、金融仲介機能の発揮はもとより、有効なソリューションを提供し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

### ■事業性評価活動推進態勢の概要





# 地域経済活性化に向けた取組状況（荘内銀行）

## 地域産業への貢献

### ■全取引先数と地域の取引先数の推移

	2019年度	2020年度
全取引先数（単位：社）	5,349	5,537
山形県内の取引先数（単位：社）	4,795	4,995
山形県外の取引先数（単位：社）	554	542

### ■メイン取引先数の推移、及び、全取引先数に占める割合

	2019年度	2020年度
メイン取引先数の推移（単位：先）	2,623	3,140
全取引先数に占める割合	49.0%	56.7%

### ■メイン取引先のうち経営指標の改善等が見られた先数・融資額

	2019年度	2020年度
メイン先数（単位：社）	2,425	2,919
メイン先の融資額（単位：億円）	1,425	1,825
経営指標等が改善した先数（単位：社）	1,742	2,166

### ■事業性評価に基づく与信先数・融資額等

		2019年度	2020年度
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	先数（単位：社）	922	933
	（割合）	18.9%	18.2%
	残高（単位：億円）	1,048	1,236
	（割合）	33.6%	36.5%

### ■地元の中小企業と与信のうち、無担保と与信先数、及び、無担保融資額の割合

	2019年度	2020年度
地元中小と与信先数①（単位：先）	4,379	4,612
地元中小向け融資残高②（単位：億円）	1,771	2,157
無担保融資先数③（単位：先）	2,917	3,237
無担保融資残高④（単位：億円）	611	838
③/①	66.6%	70.2%
④/②	34.5%	38.9%

### ■経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合

	2019年度	2020年度
全与信先数①（単位：先）	4,885	5,126
ガイドライン活用先数②（単位：先）	645	1,054
②/①	13.2%	20.6%

### ■事業性評価の結果やローカルベンチマークを提示して対話を行っている取引先数、及び、そのうち労働生産性向上のための対話を行っている取引先数

	2019年度	2020年度
事業性評価の結果やローカルベンチマークを提示して対話を行っている取引先数（単位：社）	1,058	1,076
事業性評価の結果やローカルベンチマークを提示して対話を行っている取引先のうち、労働生産性の向上に資する対話を行っている取引先数（単位：社）	1,058	1,076

### ■ソリューション提案先数・融資額等

		2019年度	2020年度
ソリューション提案先数、及び、同先の全取引先数に占める割合（単位：先）	全取引先①	4,831	5,038
	ソリューション提案先②	1,262	1,414
	（割合）	26.1%	28.1%
ソリューション提案先の融資残高、及び、同先融資残高の全取引先の融資残高に占める割合（単位：億円）	全取引先①	3,119	3,387
	ソリューション提案先②	952	1,195
	（割合）	30.5%	35.3%

# 地域経済活性化に向けた取組状況（荘内銀行）

## 地方創生への取り組み

### ■創業、第二創業に関与した件数

(単位：件)

	2019年度	2020年度
当行が関与した創業件数	271	346
当行が関与した第二創業件数	2	6

### ■販路開拓支援を行った先数

(単位：先)

	2019年度	2020年度
地 元	4	13
地元外	7	4
海 外	2	3

### ■創業支援先数

(単位：先)

	2019年度	2020年度
①創業計画の策定支援	2	0
②創業期の取引先への融資（プロパー）	110	82
②創業期の取引先への融資（信用保証付）	159	264
③政府系金融機関や創業支援機関の紹介	0	0
④ベンチャー企業への助成金・融資・投資	0	0

## コンサルティング機能の強化

### ■貸付条件変更先の経営改善計画の進捗状況

(単位：社)

	2019年度	2020年度
条件変更総数	247	217
好調先	16	15
順調先	44	20
不調先	187	182

### ■事業承継支援先数

(単位：社)

	2019年度	2020年度
事業承継支援先数	194	226

### ■M&A支援先数

(単位：先)

	2019年度	2020年度
M&A支援先数	99	134

### ■お取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、 研修等への参加数、資格取得者数

	2019年度	2020年度
研修実施回数（単位：回）	39	19
参加者数（単位：人）	439	400
資格取得者数（単位：人）	77	44

### ■ライフステージ別の与信先数・融資額

(単位：社、億円)

		2019年度	2020年度
全与信先	件数	4,885	5,125
	残高	3,119	3,386
創業期	件数	492	525
	残高	304	317
成長期	件数	371	270
	残高	330	241
安定期	件数	3,426	3,768
	残高	2,176	2,550
低迷期	件数	259	274
	残高	65	63
再生期	件数	337	288
	残高	245	215

# 地域経済活性化に向けた取組状況（北都銀行）

## 地域産業への貢献

### ■全取引先数と地域の取引先数の推移

	2019年度	2020年度
全取引先数（単位：社）	7,749	8,393
秋田県内の取引先数（単位：社）	7,384	8,019
秋田県外の取引先数（単位：社）	365	374

### ■メイン取引先数の推移、及び、全取引先数に占める割合

	2019年度	2020年度
メイン取引先数の推移（単位：先）	4,156	4,525
全取引先数に占める割合	53.6%	53.9%

### ■メイン取引先のうち経営指標の改善等が見られた先数・融資額

	2019年度	2020年度
メイン先数（単位：社）	3,797	4,118
メイン先の融資額（単位：億円）	2,045	2,360
経営指標等が改善した先数（単位：社）	2,874	2,984

### ■事業性評価に基づく与信先数・融資額等

		2019年度	2020年度
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	先数（単位：社）	983	987
	（割合）	13.5%	12.4%
	残高（単位：億円）	2,095	2,225
	（割合）	56.4%	53.3%

### ■地元の中小企業と与信のうち、無担保と与信先数、及び、無担保融資額の割合

	2019年度	2020年度
地元中小と与信先数①（単位：先）	6,904	7,584
地元中小向け融資残高②（単位：億円）	2,770	3,254
無担保融資先数③（単位：先）	4,870	5,605
無担保融資残高④（単位：億円）	1,004	1,385
③/①	70.5%	73.9%
④/②	36.3%	42.6%

### ■経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合

	2019年度	2020年度
全与信先数①（単位：先）	7,257	7,939
ガイドライン活用先数②（単位：先）	1,240	2,598
②/①	17.1%	32.7%

### ■事業性評価の結果やローカルベンチマークを提示して対話を行っている取引先数、及び、そのうち労働生産性向上のための対話を行っている取引先数

	2019年度	2020年度
事業性評価の結果やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先数（単位：社）	862	893
事業性評価の結果やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先のうち、労働生産性の向上に資する対話を行っている取引先数（単位：社）	862	893

### ■ソリューション提案先数・融資額等

		2019年度	2020年度
ソリューション提案先数、及び、同先の全取引先数に占める割合（単位：先）	全取引先①	7,084	7,675
	ソリューション提案先②	1,851	1,765
	（割合）	26.1%	23.0%
ソリューション提案先の融資残高、及び、同先融資残高の全取引先の融資残高に占める割合（単位：億円）	全取引先①	3,718	4,178
	ソリューション提案先②	1,842	1,762
	（割合）	49.5%	42.2%

# 地域経済活性化に向けた取組状況（北都銀行）

## 地方創生への取り組み

### ■創業、第二創業に関与した件数

(単位：件)

	2019年度	2020年度
当行が関与した創業件数	187	122
当行が関与した第二創業件数	2	5

### ■販路開拓支援を行った先数

(単位：先)

	2019年度	2020年度
地 元	824	941
地元外	21	26
海 外	30	3

### ■創業支援先数

(単位：先)

	2019年度	2020年度
①創業計画の策定支援	69	37
②創業期の取引先への融資（プロパー）	20	12
②創業期の取引先への融資（信用保証付）	91	70
③政府系金融機関や創業支援機関の紹介	7	3
④ベンチャー企業への助成金・融資・投資	0	0

## コンサルティング機能の強化

### ■貸付条件変更先の経営改善計画の進捗状況

(単位：社)

	2019年度	2020年度
条件変更総数	400	310
好調先	72	54
順調先	99	86
不調先	229	170

### ■事業承継支援先数

(単位：社)

	2019年度	2020年度
事業承継支援先数	316	232

### ■M&A支援先数

(単位：先)

	2019年度	2020年度
M&A支援先数	98	155

### ■お取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、 研修等への参加数、資格取得者数

	2019年度	2020年度
研修実施回数（単位：回）	13	11
参加者数（単位：人）	251	266
資格取得者数（単位：人）	21	31

### ■ライフステージ別の与信先数・融資額

(単位：社、億円)

		2019年度	2020年度
全与信先	件数	7,257	7,939
	残高	3,719	4,178
創業期	件数	777	842
	残高	356	343
成長期	件数	529	607
	残高	565	647
安定期	件数	5,113	5,674
	残高	2,357	2,719
低迷期	件数	362	386
	残高	105	115
再生期	件数	476	430
	残高	336	354

## 新産業・新事業の創造

### ■当行が関与した秋田県内の再生可能エネルギー事業規模・融資実行額

	2019年度	2020年度
当行が関与した秋田県内の再生可能エネルギー事業額（単位：億円/累計）	1,835	1,981
当行が関与した秋田県内の再生可能エネルギー融資実行額（単位：億円/累計）	420	468

### ■地元農業の高付加価値化に向けた支援件数

（単位：件）

	2019年度	2020年度
地元農業の高付加価値化に向けた支援件数	44	42

### ■女性起業家への支援実績

	2019年度	2020年度
女性起業家への支援実績	20件/175百万円	16件/314百万円

## 海外成長力の取り込み

### ■当行バンコク駐在員事務所活用件数

（単位：件）

	2019年度	2020年度
秋田県内企業等（自治体・法個人・団体）の当行バンコク事務所活用件数	95	14

### ■当行バンコク駐在員事務所が関与したタイ王国からのインバウンド誘客数

（単位：人）

	2019年度	2020年度
秋田県内自治体等との連携による、当行バンコク事務所が関与したタイ王国からのインバウンド誘客数	900	0

# 「フィデアグループSDGs宣言」の実践



## 持続可能な地域環境の実現

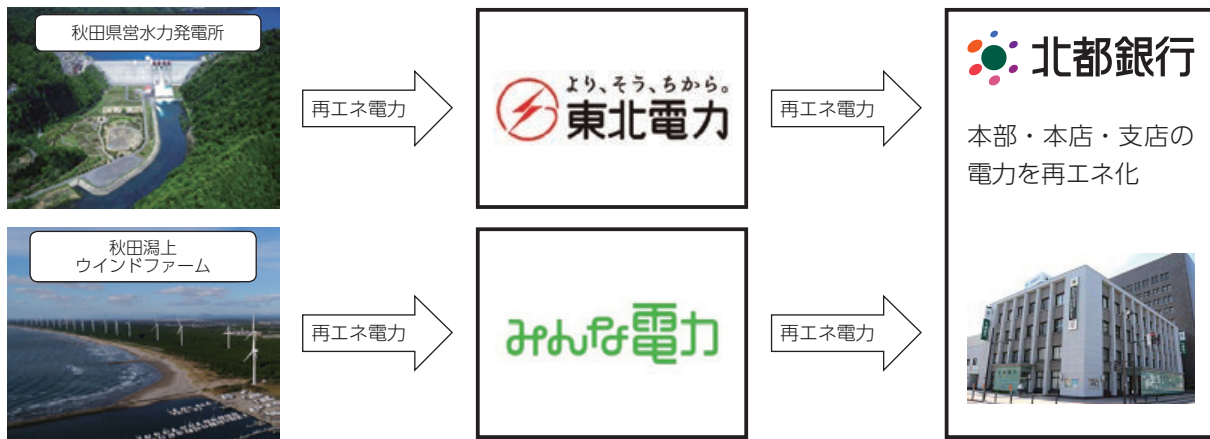
### ◆再エネ・省エネ・脱炭素への取り組み

#### ①RE100

北都銀行は、1月に地方銀行及び県内企業として初めて「再エネ100宣言 RE Action」に参画しました。使用電力の再生可能エネルギーへの転換を2030年までに30%、2050年までに100%を目指します。

達成に向けては、秋田県と東北電力株式会社が共同で提供する「あきたEネ！オプション水力100%」を利用した秋田県営水力発電所の電力や、みんな電力株式会社が提供する「ENECT RE 100プラン」により秋田潟上ウインドファームの電力を活用。現在は、本荘東支店と土崎支店にて再エネ100%の電力使用を開始しています。

引き続き、脱炭素社会の実現に向けた県内企業の取り組みを推進し、地域経済の活性化に取り組みます。

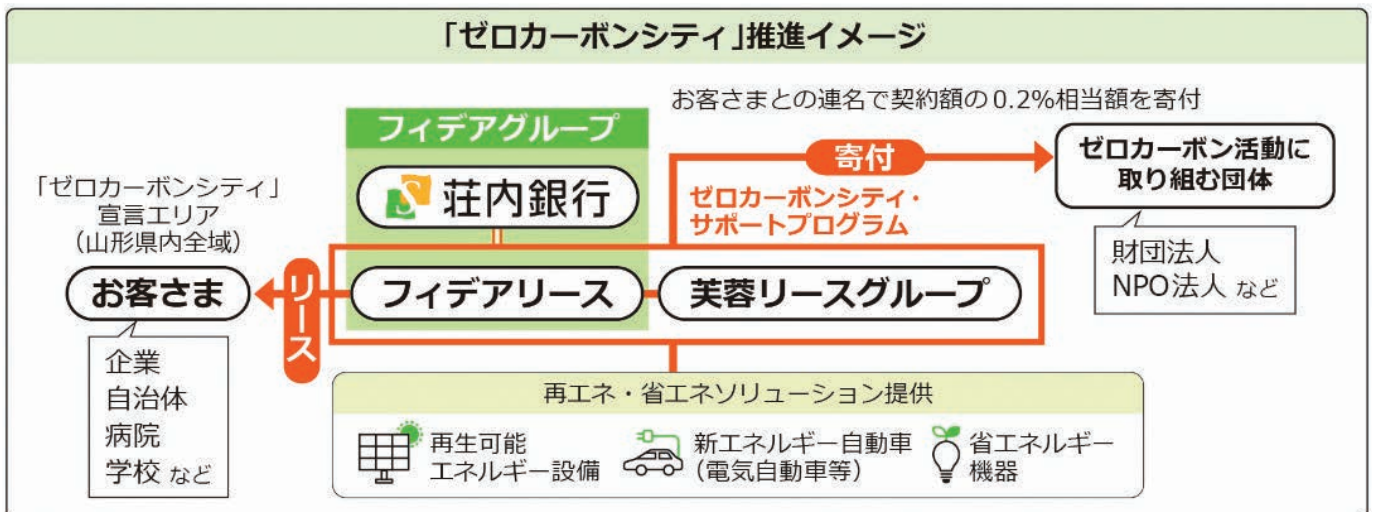


#### ②ゼロカーボンシティ

荘内銀行は、フィデアグループのフィデアリース株式会社、及び芙蓉リースグループの芙蓉総合リース株式会社並びに芙蓉オートリース株式会社と連携し、山形県と県内複数の自治体が表明する「ゼロカーボンシティ」の取り組みを推進しています。

フィデアリースは、芙蓉リースグループが先駆的に取り組んでいる「芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」を活用し、「ゼロカーボンシティ」表明エリア内（山形県内全域）に電動車や再エネ・省エネ設備機器等を導入する当行のお客さまに対し、自己資金が不要なリース・割賦等のファイナンスを行うとともに、その契約額の一部をお客さまとの連名で寄付を行うものです。

フィデアグループでは、引き続き本業を通じたお取引先の課題解決支援に取り組むとともに、再エネや省エネ、脱炭素の推進等を通じて地域社会に貢献してまいります。



## 地域経済の持続的な成長への取り組み

### ◆コンサルティング力強化への取り組み

#### ①「フィデア地方創生ファンド」の設立

荘内銀行・北都銀行は今年4月、株式会社フィデアキャピタルとの共同出資により「フィデア地方創生ファンド投資事業組合」を設立しました。

本ファンドは、地元企業の多様化する経営課題やニーズにお応えするハンズオン支援を行うことで、地域経済の活性化に貢献することを目的としています。地元企業のコロナ禍への対応策として、ご融資による資金繰り支援に加え、本ファンドを活用した資本面からの支援により、事業競争力の回復及び向上をサポートいたします。

フィデアグループは、県境をまたがる広域性から得られる充実した営業情報や、外部提携先を含む高い水準のソリューションツールを活用しながら、投資先企業の財務内容改善、事業拡大など経営課題と一緒に取り組むことを通じて、地域経済の持続的な成長に貢献してまいります。

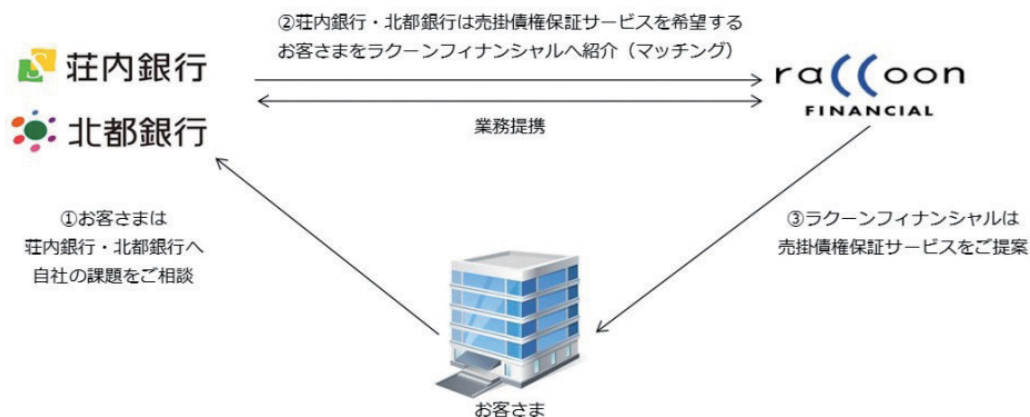
名 称	フィデア地方創生ファンド投資事業組合
ファンド総額	5億円
出 資 者	株式会社荘内銀行 株式会社北都銀行 株式会社フィデアキャピタル
設 立 日	2021年4月1日
ファンド運営会社	株式会社フィデアキャピタル
存 続 期 間	2030年12月31日まで

#### ②地元企業の取引拡大をサポート

荘内銀行・北都銀行は今年4月、売掛債権保証サービス「URIHO（ウリホ）」及び「T&G売掛保証」を取り扱う株式会社ラクーンフィナンシャルと業務提携契約を締結しました。

当社は、金融のノウハウと技術開発力を強みに独自の審査スキームを開発し、企業が抱える「未回収リスクへの対応」や「取引先の与信管理業務の効率化」等の課題解決を支援しています。

本提携により両行は、コロナ禍の先行き不安が継続する中で積極的な取引の拡大を展望する地元企業に対し本サービスを提案し、お取引先企業をサポートしてまいります。



#### ③人材紹介サービスの充実

荘内銀行・北都銀行は、2019年8月に人材紹介業務を開始して以降、地元企業の人材確保ニーズに対するご提案をより充実させるため、人材紹介にかかる外部専門機関との業務提携を順次拡大してまいりました。

今年3月には、地方転職Webプラットフォーム「Glocal Mission Jobs」を運営する株式会社みらいワークスと新たに業務提携し、地方の中小企業が抱える経営幹部や事業承継候補者等の人材ニーズに対し都市部の高度人材を紹介する、正社員採用支援サービスを強化いたしました。

両行は今後も、人材不足に直面する地方において、お取引先企業の人材確保という重要な経営課題を積極的にサポートしてまいります。



#### ④証券ビジネスの強化に向けた業務提携

フィデアホールディングスは、東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社と金融商品仲介業務の提携について基本合意しました。本提携は、お客さまの多様化するニーズにお応えするため、金融商品取引に関する豊富なノウハウや商品ラインナップを有する当社と連携し、相互の強みを生かした新しい証券ビジネスモデルの構築を目指すものです。

国内の株式や債券、仕組債等の金融商品の提供、高齢化社会における事業承継や個人の資産運用など、ワンストップのコンサルティング営業の強化に資する連携を幅広く検討してまいります。

# 「フィデアグループSDGs宣言」の実践

## ⑤ 「ほけんの窓口@荘内銀行」の展開

荘内銀行は昨年4月、来店型保険ショップ分野のリーディングカンパニーであるほけんの窓口グループ株式会社と業務提携いたしました。

「ほけんの窓口@荘内銀行」は現在、山形県内にイオンモール天童店・イオン山形南店、宮城県内に桂ガーデンプラザ店・長町店・明石台店を開設しています。また、今年8月には、山形県内にさらに鶴岡店・酒田店が新たにオープンいたします。専門スタッフが専用の保険シミュレーションツール「ライフデザインシステム」を使ってお客さまと一緒に必要な保障を確認し、じっくりと時間をかけて最適なお提案をいたします。

今後も、お客さまのご意向に沿ったご提案を徹底し、一生の「安心」をサポートしてまいります。



ライフデザインシステムによるご提案

## ⑥ 住宅資金ニーズへの対応力強化

北都銀行は、アルヒ株式会社と住宅ローンの商品紹介に係る業務提携契約を締結するとともに、当社の代理店で秋田県のフラット35市場で最大のシェアを有する株式会社ミナミ保険をお客さまにご紹介し、お客さまの多様な住宅資金ニーズに的確にお応えする態勢を整えました。

商品ラインアップの充実及びミナミ保険との緊密な連携を通じて、お客さまの住宅資金ニーズに的確にお応えし、ライフプラン実現のサポートに取り組んでまいります。

①お客さまご紹介

②お客さま対応依頼

③お客さまと手続き



(秋田店、由利本荘店、仙台中央店)



お客さま

## ◆ 地域課題の解決に向けた取り組み

### ① 荘内銀行ふるさと創造基金

荘内銀行は、真に豊かで潤いのある地域社会の実現に貢献するため、2001年に「公益信託荘内銀行ふるさと創造基金」を設立し、本基金を通じて山形県内の学校教育・社会教育・文化的活動に対し助成金を贈呈しています。これまでに、応募総数2,092件に対し、延べ886件に助成を行いました。

各地域特有の課題に対し地域と一体になって取り組みを展開している団体への支援を通じて、SDGsに掲げられる17の目標に多岐にわたって貢献しています。



助成先の活動の様子



パンフレット

### ② 除雪ボランティアの派遣

北都銀行は今年1月、秋田県内陸南部を中心とした記録的な大雪による雪害が多発している状況を受け、行員による除雪ボランティア隊を秋田市から派遣しました。湯沢市、羽後町、横手市で地域の社会福祉協議会等と連携し、地域住民の皆さまの安全確保や除排雪の支援に寄与する活動を実施しました。



除雪ボランティア



## ◆スポーツ振興への取り組み

### スポーツ振興を通じた地域活性化

北都銀行女子バドミントン部は、1971年に創部。2004年に国内最高峰の日本リーグ1部に昇格、2017年にはS/Jリーグ（旧日本リーグ）で過去最高の2位になるなど国内屈指の実業団チームに成長し、チーム一丸となって日本一を目指しています。また、特別支援学校でのバドミントン教室や北都ジュニアバドミントンクラブの運営などにも取り組み、子供たちの健全育成にも貢献しています。

荘内銀行は、地域密着のプロスポーツチーム「モンテディオ山形」（サッカー）、「アランマーレ山形」（女子バレーボール）、「パスラボ山形ワイヴァンズ」（バスケットボール）をオフィシャルスポンサーとして応援し、スポーツを通じた地域の賑わい創出に貢献しています。



北都銀行女子バドミントン部



## 従業員が能力を発揮できる魅力ある職場づくり

### ◆ESを起点としたCSの向上

#### ①「夢の銀行 Dream Bank づくりプロジェクト」の展開

フィデアグループでは、第4次中期経営計画の基本方針「働きがいのある職場づくり、従業員が能力を最大限に発揮できる魅力ある職場づくり」を実現するため、「夢の銀行 Dream Bank づくりプロジェクト」を立ち上げ、「ワーク・ライフ・バランスに秀でた特色ある銀行づくり」に取り組んでいます。

2020年度は、勤務時の服装自由化、アニバーサリー休暇の導入、テレワーク対象者の拡大、資格取得等費用の補助拡大、行内外でトレーニー経験を積める「ポストチャレンジ制度」の拡充、上司と部下の対話機会を創出・運用する「1on1ミーティング」の導入などを実施。また今年4月には、副業・兼業を制度化いたしました。

お客さまのニーズに寄り添うコンサルティング営業を強化していくために従業員のスキル・ノウハウの高度化を図る中、人材育成に注力するとともに、一人ひとりのモチベーションと自由な発想を促す環境を整えることで、「ES（従業員満足度）の追求を起点としたCS（お客さま満足度）の向上」を目指しています。今後も、働き方改革や福利厚生、人材育成・営業力強化について様々な施策を検討してまいります。



モバイル端末を利用した在宅ワーク

#### ②ワーク・ライフ・バランスの推進

フィデアグループでは、全従業員が能力を十分に発揮できる仕組みづくり、仕事とプライベートのバランスを取りながら安心して働き続けることができる環境づくりに力を入れています。

これまで、育児休業制度の充実、育児と仕事の両立支援に関するガイドブックの策定、育児休業から職場復帰する従業員を対象とした相談会の開催などに取り組み、こうした育児支援施策が評価され、厚生労働大臣より子育てサポート企業として「くるみん認定」（荘内銀行は「プラチナくるみん認定」）を受けています。現在、女性の役員比率は両行合算で約40%（2021年3月末）、また、男性の育児休暇は対象者全員が取得しています。



「プラチナくるみん」マーク

# 2021年3月期の業績ハイライト

## フィデアホールディングスの業績

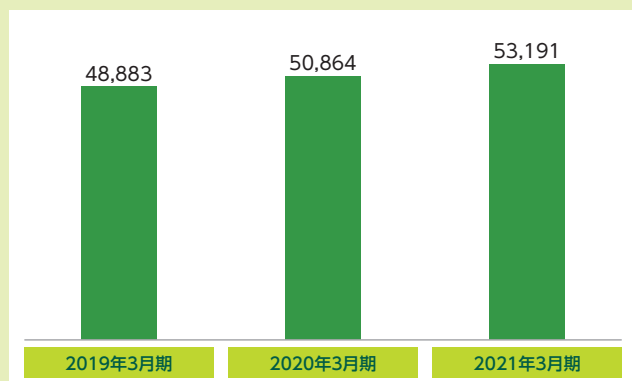
(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前期比
経常収益	50,864	53,191	2,327
業務粗利益 ①	32,898	33,304	405
資金利益	28,982	32,076	3,093
役務取引等利益	4,591	4,712	121
その他業務利益	△675	△3,484	△2,809
うち国債等債券損益 ②	△652	△4,556	△3,903
経費 ③	27,659	26,768	△891
与信関係費用	1,479	2,026	546
株式等関係損益	150	3,255	3,104
実質業務純益 ①-③	5,239	6,535	1,296
コア業務純益 ①-②-③	5,891	11,092	5,200
経常利益	2,872	6,894	4,022
親会社株主に帰属する当期純利益	1,346	3,314	1,967

第4次中期経営計画の柱として取り組んでいる経費の削減に加え有価証券利息配当金など資金利益の増加により、実質業務純益は前期比12億96百万円（24.7%）増加し65億35百万円となりました。また、国債等債券損益を除くコア業務純益は、前期比52億円（88.2%）増加し110億92百万円となりました。株式等関係損益の増加などを含め、経常利益は前期比40億22百万円（140.0%）増加し68億94百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比19億67百万円（146.1%）増加し33億14百万円となりました。

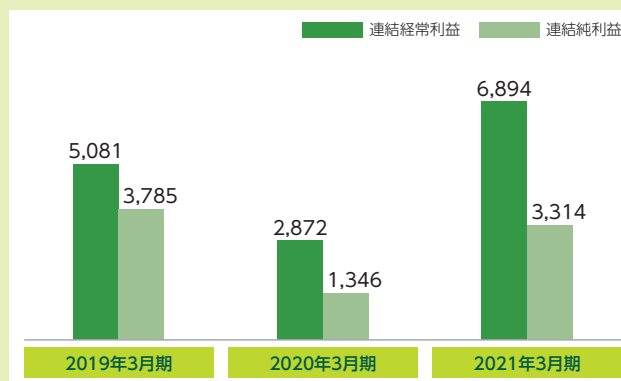
### 連結経常収益

(単位：百万円)



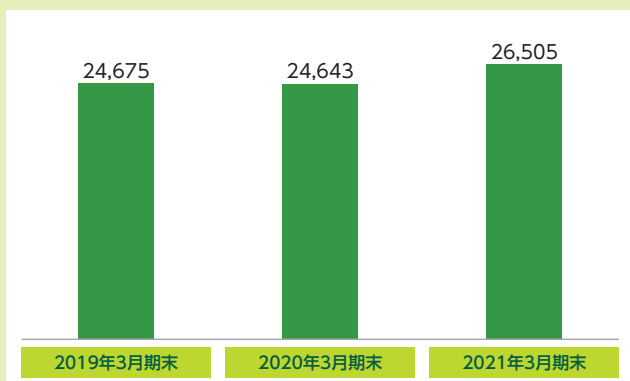
### 連結経常利益・連結純利益

(単位：百万円)



### 預金等残高（含む譲渡性預金）（連結）

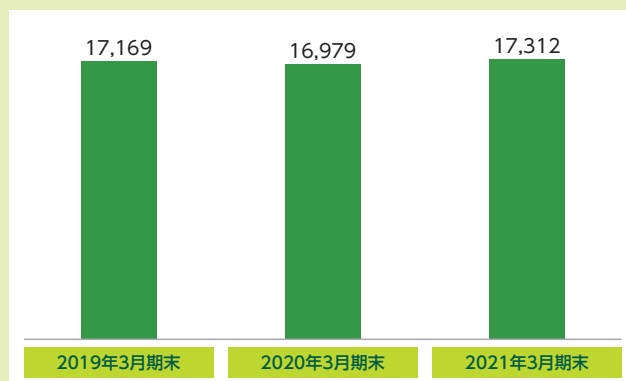
（単位：億円）



預金等残高は、個人預金や法人預金を中心に前期末比1,861億円増加いたしました。

### 貸出金残高（連結）

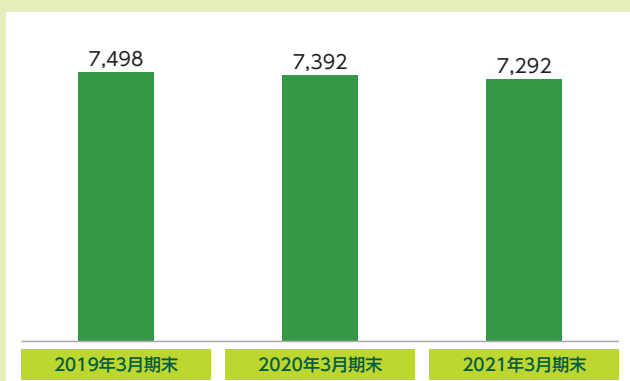
（単位：億円）



新型コロナウイルス対策を含め、お取引先の資金ニーズに積極的にお応えする中で、山形県内・秋田県内の事業性貸出を中心に前期末比332億円増加いたしました。

### 有価証券残高（連結）

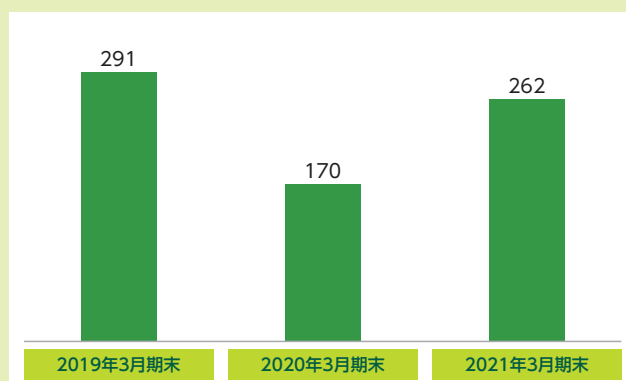
（単位：億円）



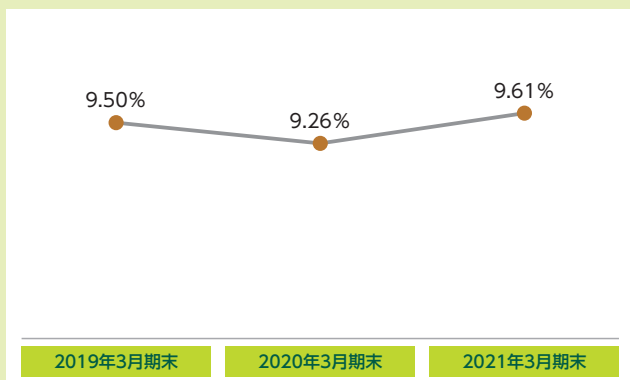
有価証券残高は、2020年3月期に大幅に圧縮したリスク性資産（株式、REITなど）のポジションを回復させながら収益基盤の再構築に取り組む中で、地方債を中心に前期末比100億円減少しました。有価証券評価損益は、262億円を確保しております。

### 有価証券評価損益（連結）

（単位：億円）



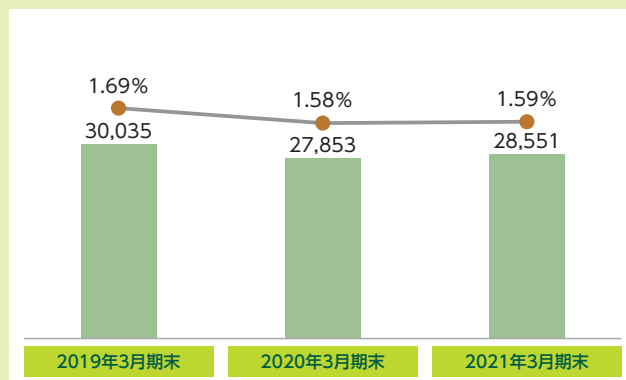
### 自己資本比率（連結）



自己資本比率は、着実な内部留保の充実及びリスクアセットコントロールに取り組む中で、前期末比0.35ポイント上昇し9.61%となりました。

### 不良債権残高／不良債権比率（2行合算）

（単位：百万円）



不良債権（金融再生法開示債権）残高は、危険債権を中心に前期末比6億97百万円増加しました。同比率は、前期末比0.01ポイント上昇しました。

# 2021年3月期の業績ハイライト

## 荘内銀行の業績

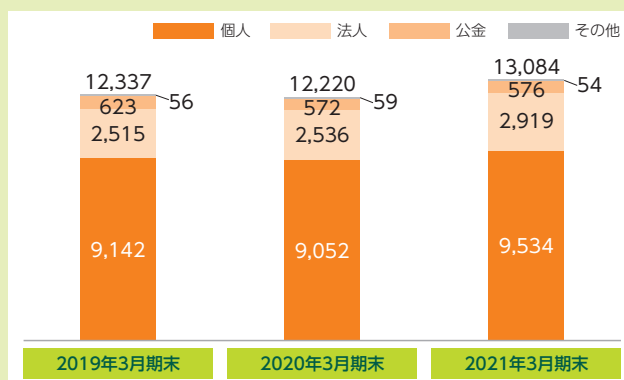
(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前期比
経常収益	23,922	27,120	3,197
業務粗利益	15,998	17,099	1,101
経費	13,586	13,041	△544
実質業務純益	2,411	4,057	1,645
コア業務純益	2,626	7,094	4,467
経常利益	1,173	3,849	2,676
当期純利益	401	1,566	1,164

経常収益は、有価証券利息配当金を中心に前期比31億97百万円（13.3%）増加し271億20百万円となりました。資金利益が増加したほか、経費の減少や株式等関係損益の増加を主な要因として、経常利益は前期比26億76百万円（227.9%）増加し38億49百万円、当期純利益は前期比11億64百万円（290.0%）増加し15億66百万円となりました。

### 預金等残高（含む譲渡性預金）

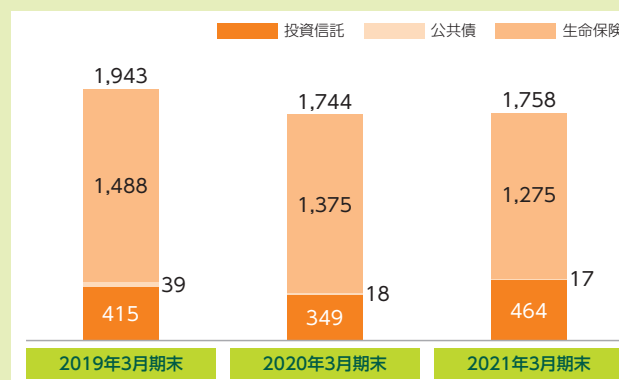
(単位：億円)



預金等残高は、個人預金や法人預金を中心に前期比863億円増加いたしました。

### 預かり資産残高

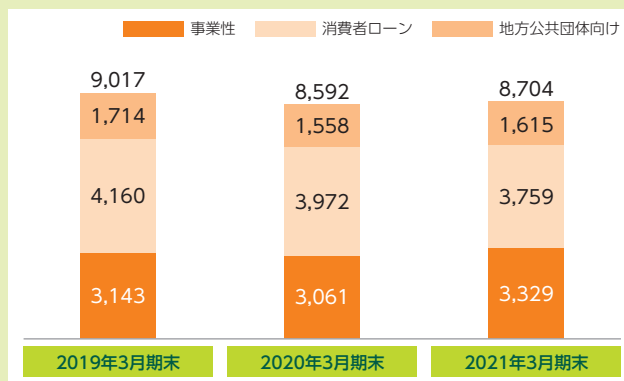
(単位：億円)



預かり資産残高は、投資信託の増加を主な要因として、前期末比13億円増加いたしました。

### 貸出金残高

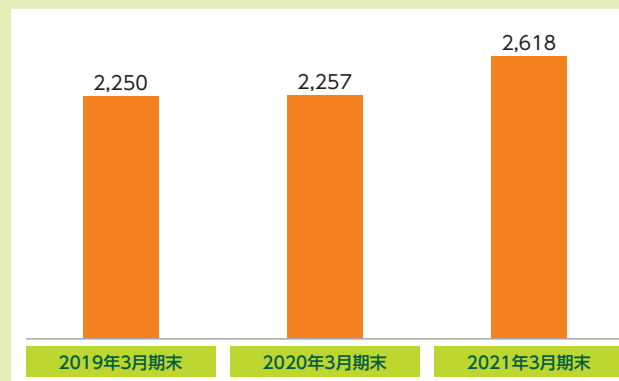
(単位：億円)



新型コロナウイルス対策を含め、お取引先の資金ニーズに積極的にお応えする中で、山形県内の事業性貸出を中心に前期比112億円増加いたしました。

### 山形県内事業性貸出残高

(単位：億円)



## 北都銀行の業績

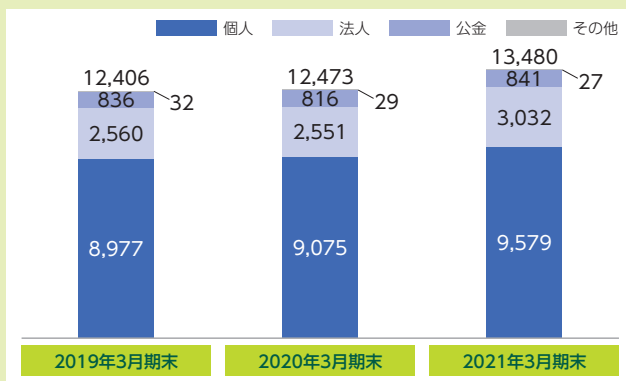
(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前期比
経常収益	23,057	21,650	△1,406
業務粗利益	14,986	14,095	△890
経費	12,933	12,416	△516
実質業務純益	2,053	1,679	△374
コア業務純益	2,491	3,199	707
経常利益	1,230	2,539	1,308
当期純利益	407	1,158	750

経常収益は、国債等債券売却益を中心に前期比14億6百万円（6.1%）減少し216億50百万円となりました。経費の減少や株式等関係損益の増加を主な要因として、経常利益は前期比13億8百万円（106.3%）増加し25億39百万円、当期純利益は前期比7億50百万円（184.1%）増加し11億58百万円となりました。

### 預金等残高（含む譲渡性預金）

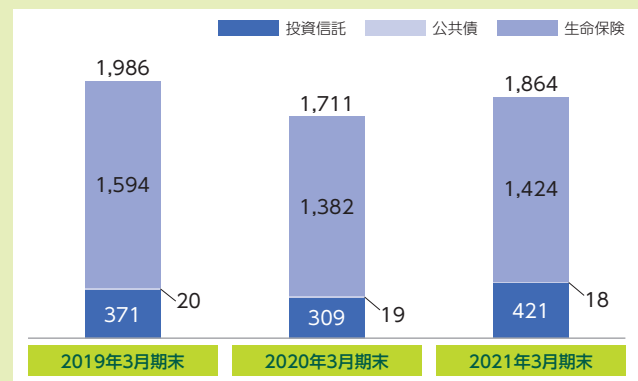
(単位：億円)



預金等残高は、個人預金や法人預金を中心に前期比1,007億円増加いたしました。

### 預かり資産残高

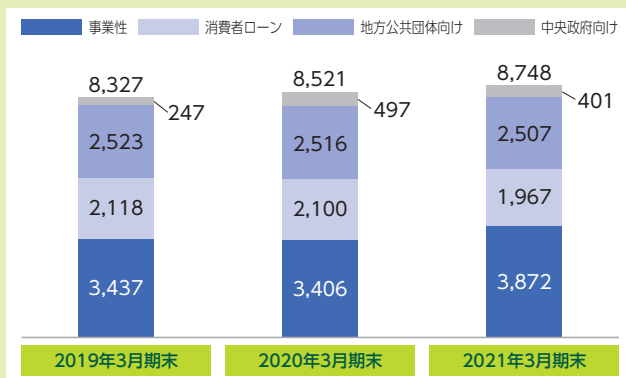
(単位：億円)



預かり資産残高は、投資信託の増加を主な要因として、前期末比153億円増加いたしました。

### 貸出金残高

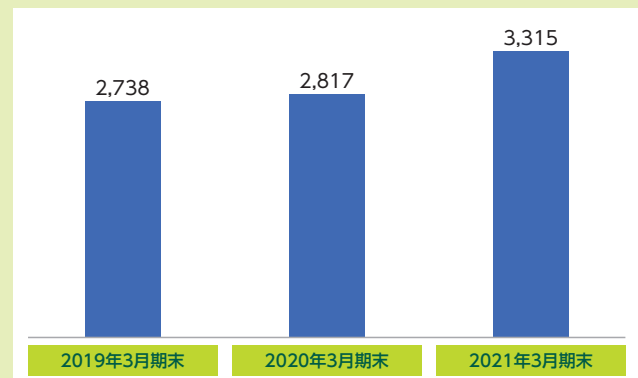
(単位：億円)



新型コロナウイルス対策を含め、お取引先の資金ニーズに積極的に応える中で、秋田県内の事業性貸出を中心に前期比227億円増加いたしました。

### 秋田県内事業性貸出残高

(単位：億円)



# 沿革

## フィデアホールディングス

2009年 5月15日	荘内銀行及び北都銀行の取締役会において「株式移転計画書」の作成及び「経営統合に関する協定書」の締結を決議
2009年 6月25日	荘内銀行及び北都銀行の定時株主総会において、両行が共同で株式移転の方法により当社を設立し、両行がその完全子会社となることについて承認を得る
2009年 8月 7日	荘内銀行及び北都銀行が銀行法上の当社設立認可を受ける
2009年 10月 1日	設立（資本金100億円）、東京証券取引所市場第一部へ上場
2010年 2月18日	「フィデアグループ第1次中期経営計画」策定
2010年 3月31日	B種優先株式発行、増資（資本金150億円）
2010年 5月31日	株式会社北都ベンチャーキャピタル解散
2010年 6月18日	株式会社荘銀ベンチャーキャピタルの商号を株式会社フィデアベンチャーキャピタルに変更
2010年 7月 1日	株式会社荘銀総合研究所の商号を株式会社フィデア総合研究所に変更し、グループ内の調査研究業務を集約
2010年 12月22日	当社A種優先株式を買入消却
2011年 3月 1日	荘内銀行、北都銀行、フィデアベンチャーキャピタルの共同出資によりフィデア中小企業成長応援ファンド1号投資事業組合を設立
2011年 4月 1日	株式会社フィデア総合研究所が株式会社ISBコンサルティングを吸収合併
2012年 2月 1日	フィデアグループ確定拠出年金企業型年金制度導入
2012年 3月 1日	北都銀行が北都総研株式会社を吸収合併
2012年 4月 1日	荘銀カード株式会社が株式会社北都カードサービスを吸収合併し、商号を「フィデアカード株式会社」に変更 株式会社北都情報システムズの商号を「株式会社フィデア情報システムズ」に変更
2013年 3月29日	「フィデアグループ第2次中期経営計画」策定
2013年 12月 5日	第三者割当による転換社債型新株予約権付社債を発行
2014年 4月 1日	荘内銀行が荘銀事務サービス株式会社を吸収合併
2014年 7月 1日	北都銀行が北都銀ビジネスサービスを吸収合併
2014年 10月31日	株式会社北都ソリューションズ解散
2015年 8月31日	転換社債型新株予約権付社債の全額が普通株式へ転換し資本金180億円（2015年3月より普通株式に順次転換）
2016年 2月22日	北都チャレンジファンド1号投資事業組合を清算
2016年 6月13日	株式会社フィデアベンチャーキャピタルの商号を株式会社フィデアキャピタルに変更
2016年 6月30日	フィデアカード株式会社及び株式会社フィデア情報システムズを完全子会社化
2017年 4月 1日	「フィデアグループ第3次中期経営計画」スタート
2018年 10月 1日	山形県内のリース会社の株式を取得し完全子会社化のうえ、フィデアリース株式会社として営業開始
2019年 10月 1日	株式会社フィデア情報システムズが株式会社フィデア総合研究所を吸収合併し、商号を株式会社フィデア情報総研に変更
2020年 4月 1日	「フィデアグループ第4次中期経営計画」スタート
2021年 4月 1日	新しいグループ経営理念、行動指針を制定

## 荘内銀行

1941年 4月	山形県の庄内地方を経営基盤としていた六十七銀行、鶴岡銀行、風間銀行及び出羽銀行が設立合併し、その中核となった鶴岡市の六十七銀行跡を本店として発足	1995年 12月	株式会社荘銀ベンチャーキャピタル（現 株式会社フィデアキャピタル）及び荘銀オフィスサービス株式会社を設立
1941年 12月	新庄銀行の営業を譲り受け	1996年 2月	東邦銀行山形支店の営業を譲り受け
1942年 4月	安田銀行（現 みずほフィナンシャルグループ）鶴岡支店、酒田支店の営業を譲り受け	1998年 4月	荘銀ユーシーカード株式会社と荘内保証サービス株式会社を合併し、株式会社荘銀総合研究所（現 株式会社フィデア情報総研）を設立
1943年 10月	荘内貯蓄銀行を吸収合併	1998年 12月	投資信託の窓口販売業務開始
1951年 2月	日本勧業銀行（現 みずほフィナンシャルグループ）鶴岡支店、同酒田特設出張所の預金業務を継承	1999年 5月	仙台銀行山形支店の営業を譲り受け
1961年 8月	富士銀行（現 みずほフィナンシャルグループ）米沢支店を継承	1999年 9月	当行新潟支店の営業を山形しあわせ銀行（現 きらやか銀行）に譲り渡し
1974年 10月	株式会社エス・ワイコンピューターサービスを山形相互銀行（現 きらやか銀行）と共同出資により設立	2001年 4月	損害保険の窓口販売業務開始
1975年 10月	第一次オンラインシステム稼動（昭和55年10月第一次総合オンラインシステム完了）	2001年 10月	荘銀ユーシーカード株式会社と荘銀ジェーシービーカード株式会社とを合併し、荘銀カード株式会社とする
1975年 12月	荘内保証サービス株式会社を設立	2002年 6月	荘銀オフィスサービス株式会社を当行に吸収合併
1976年 1月	社債登録機関の指定	2002年 10月	生命保険の窓口販売業務開始
1976年 9月	グランド山形リース株式会社を設立	2005年 4月	証券仲介業務の開始
1977年 4月	外国為替業務取扱開始	2006年 2月	東京証券取引所市場第一部へ上場
1982年 5月	金売買業務取扱開始	2006年 5月	勘定系システムの「地銀共同センター」への移行完了、運用開始
1983年 4月	証券業務取扱開始	2007年 12月	荘銀カード株式会社が庄内信販株式会社を吸収合併
1986年 1月	第二次総合オンラインシステム稼動	2008年 10月	株式会社荘銀総合研究所（現 株式会社フィデア総合研究所）が株式会社ISBコンサルティングの株式を取得し、子会社化
1986年 6月	国債等の売買業務開始	2009年 9月	東京証券取引所市場第一部上場廃止
1991年 2月	荘銀ユーシーカード株式会社を設立	2009年 10月	北都銀行と共同持株会社「フィデアホールディングス株式会社」を設立し経営統合
1991年 7月	担保付社債に関する信託業務の営業免許取得	2014年 3月	勘定系システム「BeSTA cloud」稼動開始
1991年 9月	海外コレレス個別承認銀行の許可取得	2015年 12月	第三者割当増資を実施（資本金85億円）
1992年 3月	荘銀ジェーシービーカード株式会社を設立	2017年 5月	新本店を竣工
1994年 7月	信託代理店業務開始 荘銀事務サービス株式会社を設立	2021年 4月	新しいグループ経営理念、行動指針を制定

## 北都銀行

1895年 5月	増田銀行として創業
1922年 3月	羽後銀行に商号変更
1928年 9月	大館銀行及び仁賀保銀行を合併
1932年 1月	植田銀行を営業譲受
1949年 9月	本店を横手市に移転
1953年 3月	羽後商事株式会社（北都総研株式会社）を設立
1964年 5月	本店を秋田市に移転
1974年 2月	株式会社羽後電子計算センター（現 株式会社フィデア情報システムズ）を設立
1977年 11月	本店新館竣工
1980年 8月	財団法人久米田羽後奨学会設立
1983年 4月	公共債窓口販売業務開始
1983年 12月	羽後信用保証株式会社（現 フィデアカード株式会社）を設立
1985年 12月	外国為替取扱業務開始 羽銀ビジネスサービス株式会社（現 北都銀ビジネスサービス株式会社）を設立
1986年 6月	公共債ディーリング業務開始
1987年 6月	公共債フルディーリング業務開始
1990年 5月	債券先物オプション取引業務開始
1990年 6月	担保附社債信託業務開始
1991年 1月	外為コルレス業務認可取得
1992年 11月	土崎信用金庫大館支店の営業譲受
1993年 4月	秋田あけぼの銀行を合併、北都銀行に商号変更
1993年 6月	信託代理店業務開始
1996年 3月	コルレス包括承認銀行認可取得
1998年 10月	外為業務全店取扱開始
1998年 12月	投資信託窓口販売業務開始
2000年 9月	第三者割当増資を実施
2001年 4月	損害保険の窓口販売開始
2002年 10月	生命保険の窓口販売業務開始
2005年 4月	証券仲介業務開始
2005年 10月	北都チャレンジファンド1号投資事業組合設立
2006年 2月	市場誘導業務の取扱開始
2006年 5月	勘定系システム「PROBANK」稼働開始
2008年 7月	SPC一括ファクタリング取扱開始
2008年 9月	荘内銀行への優先株式及び新株予約権の割当て
2009年 2月	株式会社北都ソリューションズへの会社分割実施
2009年 5月	インスタブランチの開設（秋田県初）
2009年 10月	荘内銀行と共同持株会社「フィデアホールディングス株式会社」を設立し経営統合
2010年 3月	C種優先株式発行、増資（資本金110億円）
2014年 5月	勘定系システム「BeSTA cloud」稼働開始
2015年 12月	第三者割当増資を実施（資本金125億円）
2021年 4月	新しいグループ経営理念、行動指針を制定

# 子会社等に関する事項・従業員の状況

## 子会社等に関する事項 (2021年3月31日現在)

名称・住所	主な事業内容	設立年月日	資本金	議決権の所有割合		
				フィデアホールディングス	荘内銀行	北都銀行
株式会社荘内銀行 鶴岡市本町一丁目9番7号	銀行業	1941年 4月7日	8,500百万円	100.00% (-)	-	-
株式会社北都銀行 秋田市中通三丁目1番41号	銀行業	1895年 5月2日	12,500百万円	100.00% (-)	-	-
フィデアカード株式会社 秋田市中通三丁目1番34号	クレジットカード業 信用保証業 顧客会員へのサービス業務	1991年 2月1日	50百万円	100.00% (-)	-	-
フィデアリース株式会社 山形市本町一丁目4番21号	リース業	1976年 9月21日	50百万円	100.00% (-)	-	-
株式会社フィデア情報総研 秋田市山王三丁目4番23号	システム開発業 調査研究業 情報サービス業	1974年 2月27日	50百万円	85.00% (2.75%)	0.83% (-)	0.83% (-)
株式会社フィデアキャピタル 山形市本町一丁目4番21号	投資業等	1995年 12月18日	80百万円	36.36% (13.63%)	6.81% (-)	6.81% (-)

※「議決権の所有割合」欄の（ ）内は子会社による間接所有の割合（外書き）であります。  
 ※上記6社は、すべてフィデアホールディングスの連結子会社です。

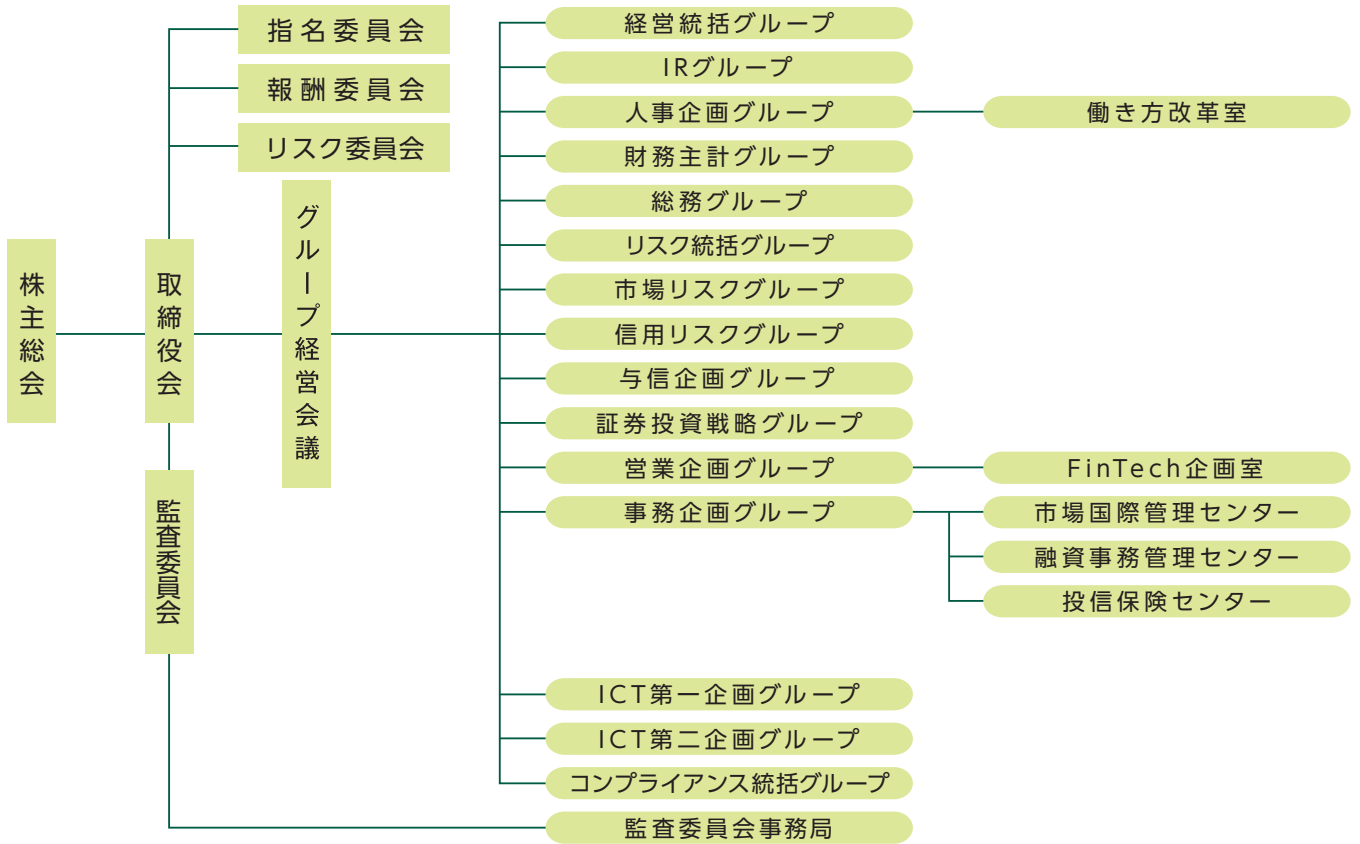
## 従業員

	2020年3月31日	2021年3月31日
従業員数	114人	104人
平均年齢	47歳9カ月	50歳8カ月
平均勤続年数	22年11カ月	27年1カ月
平均給与月額	398千円	446千円

(注) 1. フィデアホールディングスの従業員は、主に荘内銀行及び北都銀行からの出向者であります。平均勤続年数は、出向元での勤続年数を通算しております。  
 2. 従業員数には、臨時従業員及び嘱託は含まれておりません。  
 3. 平均給与月額は、賞与を除く3月中の平均給与月額であります。



## 組織図 (2021年6月24日現在)



## 役員 (2021年6月24日現在)

### 取締役

取締役*	田尾祐一
取締役	伊藤新
取締役 監査委員会委員	富樫秀雄
取締役 取締役会議長 指名委員会委員長 報酬委員会委員 リスク委員会委員	西堀利
取締役 監査委員会委員	小川昭一
取締役 報酬委員会委員長 指名委員会委員 リスク委員会委員	福田恭一
取締役 指名委員会委員 報酬委員会委員	堀裕
取締役 監査委員会委員	近野博
取締役 監査委員会委員長 リスク委員会委員	布井知子
取締役 指名委員会委員 報酬委員会委員	廣瀬渉
取締役 監査委員会委員 リスク委員会委員	甲斐文朗

### 執行役

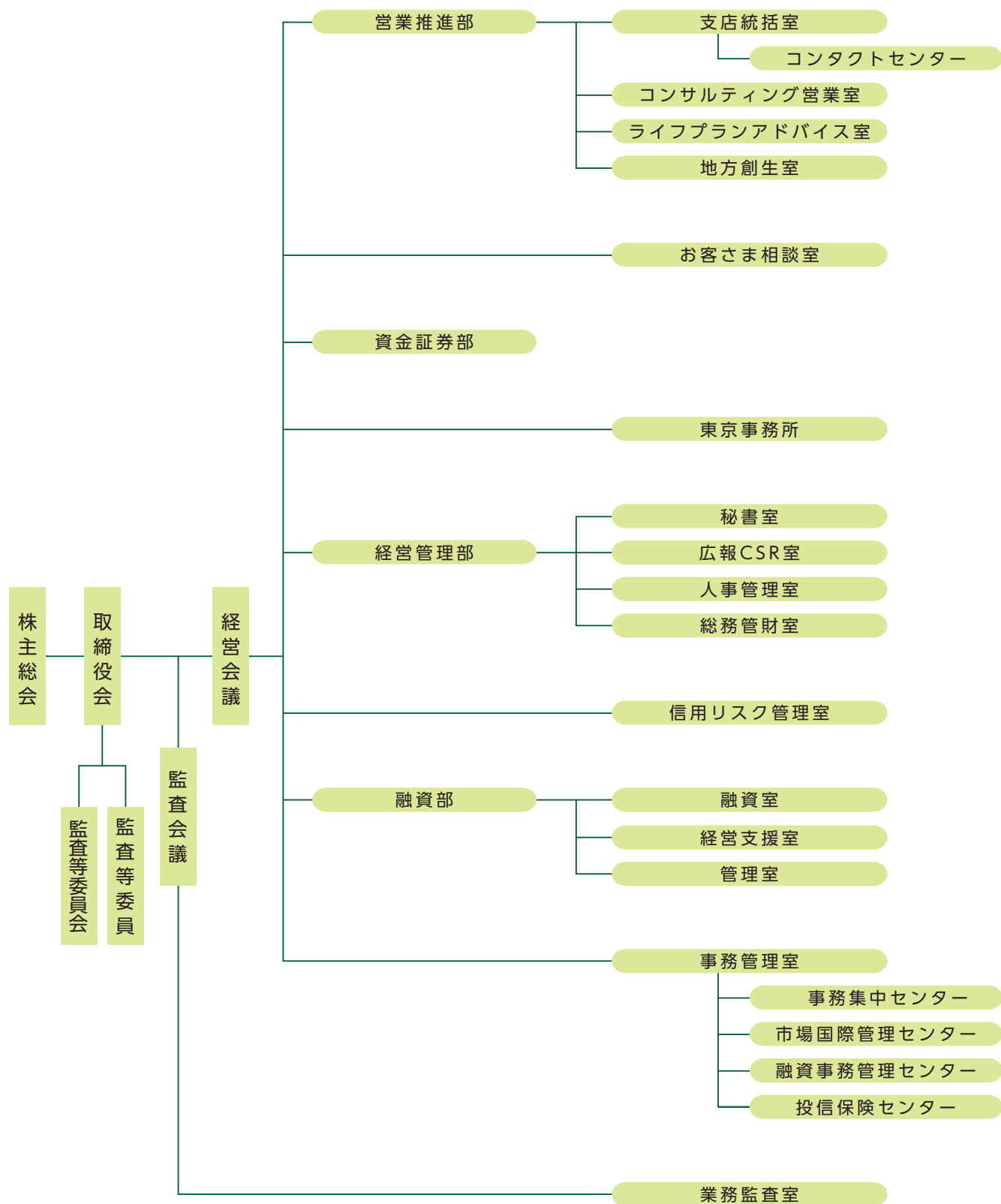
代表執行役社長 最高経営責任者 (CEO)	田尾祐一
執行役副社長 最高財務責任者 (CFO) 最高ICT・システム責任者 (CTO)	宮下典夫
専務執行役 最高投資責任者 (CIO)	松田卓
常務執行役 最高マーケティング責任者 (CMO)	新野正博
執行役 最高コンプライアンス責任者 (CCO)	工藤仁
執行役	嵯峨修
執行役 最高リスク管理責任者 (CRO) リスク委員会委員長	小野山公彦

(注) 1. 取締役の西堀利、小川昭一、福田恭一、堀裕、近野博、布井知子、廣瀬渉及び甲斐文朗は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

2. ※の取締役は執行役を兼務しております。

# 荘内銀行の組織・役員・従業員の状況

組織図 (2021年7月1日現在)



## 役員 (2021年6月22日現在)

### ◎取締役

取締役 会長	うえの まさし 上野 雅史
代表取締役 頭取	たの おゆい 田尾 祐一
取締役 専務執行役員	ひの とし 白野 俊孝
取締役 専務執行役員	むら かみ ひろし 村上 浩
取締役 常務執行役員 本店営業部長 ※1	まつ た まさひこ 松田 正彦
取締役 常務執行役員	いとう ひろし 伊藤 博
取締役 執行役員 経営管理部長	みや ぎき きょうすけ 宮崎 恭介
取締役	にし ほり さとる 西 堀 利
取締役	ひろ せ わたる 廣瀬 渉
取締役	えん どう りょういち 遠藤 涼一
取締役 常勤監査等委員	かな い まさや 金井 昌弥
取締役 監査等委員	かしの さぶろう べい 岸 三郎兵衛
取締役 監査等委員	さか い ただ ひさ 酒井 忠久

(注) 取締役の遠藤涼一、岸三郎兵衛及び酒井忠久は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※ブランチインブランチ方式による統合店長の兼務

※1 兼三瀬支店長 兼宝田支店長 兼温海支店長 兼ねがが関支店長 兼鶴岡東支店長 兼朝陽町支店長

※2 兼天童支店長 兼長岡支店長

※3 兼山形南支店長

### ◎執行役員

執行役員 営業推進部部長	いし い こういち 石井 康一
執行役員 営業推進部長	さくら い しん 櫻井 晋
執行役員 天童中央支店長 ※2	たか はし かつとし 高橋 勝敏
執行役員 山形営業部長 ※3	やま しな ひろゆき 山科 宏幸
執行役員	おの やま ただひこ 小野山 公彦
執行役員 融資部長	いの うえ よしのり 井上 義紀
執行役員 営業推進部部長	すぎ もと かずのぶ 杉本 一伸
執行役員 資金証券部長	つち た だ 土田 さとし

## 従業員

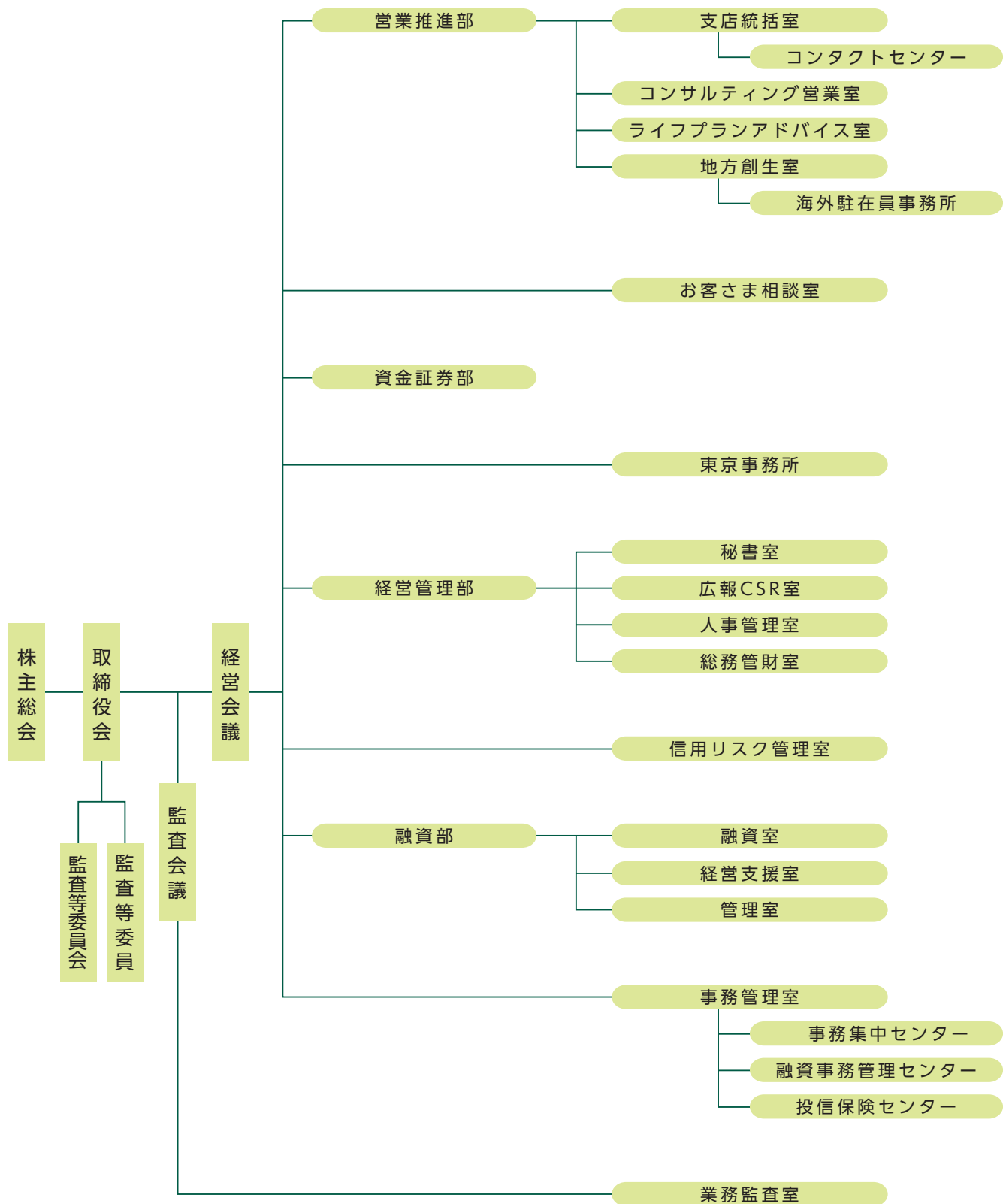
	2020年3月31日	2021年3月31日
従業員数	725人	692人
平均年齢	38歳10カ月	39歳1カ月
平均勤続年数	14年11カ月	15年20カ月
平均給与月額	333千円	335千円

(注) 1. 従業員数には、臨時従業員及び嘱託は含まれておりません。

2. 平均給与月額は、賞与を除く3月中の平均給与月額であります。

# 北都銀行の組織・役員・従業員の状況

組織図 (2021年7月1日現在)



## 役員 (2021年6月22日現在)

### ●取締役

取締役会長執行役員  
 代表取締役頭取  
 取締役専務執行役員  
 取締役専務執行役員  
 取締役常務執行役員  
 取締役常務執行役員  
 取締役  
 取締役  
 取締役  
 取締役  
 取締役常勤監査等委員  
 取締役監査等委員  
 取締役監査等委員

とみ おか こう すけ  
 富 岡 行 介  
 い とう たら  
 伊 藤 新  
 ささ ぶち かず し  
 笹 瀨 一 史  
 まつ だ たく  
 松 田 卓  
 あい ぼ おさむ  
 相 場 修  
 い とう ゆき のり  
 伊 藤 元 範  
 にし ぼり さとる  
 西 堀 利  
 いし い ただ なり  
 石 井 資 就  
 さ とう ひろ ゆき  
 佐 藤 裕 之  
 なら おか たか たけ  
 檜 岡 孝 武  
 さ とう たかし  
 佐 藤 節  
 おく やま かず ひこ  
 奥 山 和 彦  
 みなと きみ お  
 湊 貴美男

### ●執行役員

常務執行役員 営業推進部長  
 執行役員 湯沢支店長 ※1  
 執行役員 横手支店長 ※2  
 執行役員 大曲支店長 ※3  
 執行役員  
 執行役員 本店営業部長 ※4  
 執行役員 土崎支店長 ※5

さ とう じゅん えつ  
 佐 藤 純 悦  
 なつ い たく や  
 夏 井 拓 也  
 い とう だい すけ  
 伊 藤 大 介  
 き とう やす つく  
 木 藤 康 嗣  
 おの やま ただ ひこ  
 小野山 公 彦  
 ほ さか こう えつ  
 保 坂 幸 悦  
 さ とう たかし  
 佐 藤 敬

(注) 取締役の石井資就、檜岡孝武、奥山和彦及び湊貴美男は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※ブランチインブランチ方式による統合店長の兼務

※1 兼湯沢北支店長 兼横堀支店長

※2 兼横手駅前支店長 兼横手市役所出張所長

※3 兼仙北支店長 兼太田支店長

※4 兼檜山支店長

※5 兼高清水支店長 兼將軍野支店長 兼土崎南支店長

## 従業員

	2020年3月31日	2021年3月31日
従業員数	716人	652人
平均年齢	40歳2カ月	40歳6カ月
平均勤続年数	16年5カ月	17年0カ月
平均給与月額	335千円	341千円

(注) 1. 従業員数には、臨時雇員及び嘱託は含まれておりません。

2. 平均給与月額は、賞与を除く3月中の平均給与月額であります。

# 株式等の状況

(2021年3月31日現在)



## 資本金及び発行済株式の総数

発行済株式総数 (千株)		資本金 (百万円)
普通株式	181,421	18,000
B種優先株式	25,000	

## 株式所有者別内訳

### 〈普通株式〉

区 分	株式の状況 (1単元の株式数：100株)							計	単元未満株式の状況
	政府及び 地方公共団体	金融機関	金融商品 取扱業者	その他の 法人	外国法人等		個人 その他		
					個人以外	個人			
株主数 (人)	4	33	36	1,560	93	29	25,122	26,877	
所有株式数 (単元)	257	420,867	56,631	288,271	218,088	636	825,710	1,810,460	375,226株
割合 (%)	0.01	23.25	3.13	15.92	12.05	0.03	45.61	100.00	

(注) 自己所有株式31,724株は、「個人その他」に317単元、「単元未満株式の状況」に24株含まれております。

### 〈B種優先株式〉

区 分	株式の状況 (1単元の株式数：100株)							計	単元未満株式の状況
	政府及び 地方公共団体	金融機関	金融商品 取扱業者	その他の 法人	外国法人等		個人 その他		
					個人以外	個人			
株主数 (人)	—	1	—	—	—	—	—	1	—
所有株式数 (単元)	—	250,000	—	—	—	—	—	250,000	—
割合 (%)	—	100.00	—	—	—	—	—	100.00	—

## 大株主

### 〈普通株式〉（上位10先）

氏名又は名称	所有株式数（千株）	発行済株式（自己株式を除く。）の総数に対する所有株式数の割合
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	13,322	7.34%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	6,256	3.44%
フィデアホールディングス従業員持株会	4,739	2.61%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO（常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店）	3,232	1.78%
株式会社日本カストディ銀行（信託口5）	2,891	1.59%
株式会社日本カストディ銀行（信託口6）	2,602	1.43%
GOVERNMENT OF NORWAY（常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店）	2,231	1.23%
株式会社日本カストディ銀行（信託口1）	2,209	1.21%
株式会社日本カストディ銀行（信託口2）	2,188	1.20%
株式会社日本カストディ銀行（信託口9）	1,942	1.07%
計	41,618	22.94%

### 〈B種優先株式〉

氏名又は名称	所有株式数（千株）	発行済株式（自己株式を除く。）の総数に対する所有株式数の割合
株式会社整理回収機構	25,000	100.00%

(注) 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。また、所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 荘内銀行

### 資本金及び発行済株式の総数

発行済株式総数（千株）	資本金（百万円）
普通株式 121,321	8,500

### 株式所有者別内訳

#### 〈普通株式〉

区分	株式の状況（1単元の株式数：1,000株）							計	単元未満株式の状況
	政府及び地方公共団体	金融機関	金融商品取扱業者	その他の法人	外国法人等		個人その他		
					個人以外	個人			
株主数（人）	－	－	－	1	－	－	－	1	
所有株式数（単元）	－	－	－	121,321	－	－	－	121,321	649株
割合（％）	－	－	－	100.00	－	－	－	100.00	

## 大株主

#### 〈普通株式〉

氏名又は名称	所有株式数（千株）	発行済株式（自己株式を除く。）の総数に対する所有株式数の割合
フィデアホールディングス株式会社	121,321	100.00%

(注) 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。また、所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

# 株式等の状況

(2021年3月31日現在)



## 資本金及び発行済株式の総数

発行済株式総数 (千株)		資本金 (百万円)
普通株式	282,339	12,500
C種優先株式	25,000	

## 株式所有者別内訳

### 〈普通株式〉

区 分	株式の状況 (1単元の株式数: 1,000株)							計	単元未満株式の状況
	政府及び 地方公共団体	金融機関	金融商品 取扱業者	その他の 法人	外国法人等		個人 その他		
					個人以外	個人			
株主数 (人)	-	-	-	1	-	-	-	1	
所有株式数 (単元)	-	-	-	282,339	-	-	-	282,339	276株
割合 (%)	-	-	-	100.00	-	-	-	100.00	

### 〈C種優先株式〉

区 分	株式の状況 (1単元の株式数: 1,000株)							計	単元未満株式の状況
	政府及び 地方公共団体	金融機関	金融商品 取扱業者	その他の 法人	外国法人等		個人 その他		
					個人以外	個人			
株主数 (人)	-	-	-	1	-	-	-	1	
所有株式数 (単元)	-	-	-	25,000	-	-	-	25,000	-株
割合 (%)	-	-	-	100.00	-	-	-	100.00	

## 大株主

### 〈普通株式〉

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合
フィデアホールディングス株式会社	282,339	100.00%

### 〈C種優先株式〉

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合
フィデアホールディングス株式会社	25,000	100.00%

(注) 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。また、所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。



# 業務案内（荘内銀行、北都銀行）

## 主要な業務の内容（2021年7月31日現在）

### ●預金業務

預 金	当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取り扱っております。
譲渡性預金	譲渡可能な定期預金を取り扱っております。
決済用預金	預金保険制度により預け入れ全額保護される預金を取り扱っております。

### ●貸出業務

貸 付	手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取り扱っております。
手形の割引	銀行引受手形、商業手形及び荷付為替手形の割引を取り扱っております。

### ●商品有価証券売買業務

- 国債等公共債の売買業務を行っております。

### ●有価証券投資業務

- 預金の支払準備及び資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

### ●内国為替業務

- 送金為替、振込及び代金取立等を取り扱っております。

### ●外国為替業務

- 輸出、輸入及び海外送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。

### ●社債受託及び登録業務

- 担保附社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託及び登録に関する業務を行っております。
- 特定社債保証制度による無担保社債の受託業務を行っております。

### ●附帯業務

#### ◎代理業務

1. 日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店及び国債代理店業務
2. 地方公共団体の公金取扱業務
3. 独立行政法人勤労者退職金共済機構等の代理店業務
4. 株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務
5. 中小企業金融公庫等の代理貸付業務
6. 信託代理店業務

#### ◎保護預り及び貸金庫業務

#### ◎有価証券の貸付業務

#### ◎債務の保証（支払承諾）

#### ◎公共債の引受

#### ◎国債等公共債、投資信託及び保険商品の窓口販売

#### ◎金融商品仲介業務

#### ◎コマーシャル・ペーパー等の取扱い

#### ◎損害保険の窓口販売業務

#### ◎生命保険の窓口販売業務

#### ◎有料職業紹介業務

# 手数料（荘内銀行、北都銀行）



## ATM関連手数料等

	ご利用時間	当行カード	提携先カード	他金融機関カード	ゆうちょ銀行カード
平日	8:00から9:00*まで	-	110円	220円	220円
	9:00*から18:00まで	-	-	110円	110円
	18:00以降	-	110円	220円	220円
土曜日	9:00から14:00まで	110円	110円	220円	110円
	14:00以降	110円	110円	220円	220円
日曜日・祝日	終日	110円	110円	220円	220円

※ご利用時間は各コーナーにより異なりますのでご了承ください。  
 ※12月31日～1月3日は日曜日・祝日と同じご利用手数料となります。  
 ※ゆうちょ銀行カードは8:45となります。  
 ※当行ATMで当行のカード・通帳をご利用の場合、平日の手数料は終日無料となります。

## 振込手数料等

		3万円未満	3万円以上
同一店内振込	窓口	550円	550円
	ATM	当行カード110円/現金・他行カード440円	当行カード110円/現金・他行カード440円
	FB/荘銀ダイレクト・荘銀ビジネスダイレクト	無料	無料
当行本支店宛振込	窓口	550円	550円
	ATM	当行カード330円/現金・他行カード440円	当行カード330円/現金・他行カード440円
	FB/荘銀ダイレクト・荘銀ビジネスダイレクト	110円	330円/220円
他行宛振込	窓口	880円	880円
	ATM	当行カード660円/現金・他行カード770円	当行カード660円/現金・他行カード770円
	FB/荘銀ダイレクト・荘銀ビジネスダイレクト	440円/330円	660円/550円
送金、振込の組戻料（一件につき）		880円	

※カードをご利用の上、お振込みの場合は、時間帯に応じて振込手数料の他に別途ATMご利用手数料が加算になります。

## その他の手数料

代金取立手数料	同一手形交換所内		支払地が同一市町村内 一件につき	220円
			支払地が同一市町村以外 一件につき	440円
	上記以外	当行本支店宛	一件につき	440円
		他行宛	集中取立一件につき	660円
			個別取立一件につき	1,100円
取立手形店頭呈示料 取立手形組戻料 不渡手形返却料		一件につき	1,100円	
手形・小切手用紙代	当座小切手帳		一冊につき	2,200円
	約束手形 為替手形		一冊につき	2,200円
再発行手数料	通帳		一冊につき	1,100円
	証書		一枚につき	1,100円
	カード		一枚につき	1,100円
預金残高証明書 融資残高証明書、等	継続発行先残高証明書		一業務につき ※業務の区分：預金・融資・外為・債券	550円
	継続発行先以外	当行制定帳票	一業務につき	660円
		当行制定帳票以外	一件につき	1,100円
融資証明書		一件につき	3,300円	
その他の手数料	自己宛小切手発行手数料		一枚につき	1,100円

※代金取立手数料のうち、小切手の取立における自店払い（支払場所が受入店と同一の場合）の手数料は無料です。  
 ※インターネットバンキング等の手数料、貸金庫使用料・夜間金庫使用料・国債保護預り手数料・その他の手数料等については窓口におたずねください。  
 ※「住宅取得資金に係る借入金年末残高証明書」の発行手数料は無料です。

## ATM関連手数料等

	ご利用時間	当行カード・提携先カード	他金融機関カード	ゆうちょ銀行カード
平日	8:00から8:45まで	110円	220円	220円
	8:45から18:00まで	-	110円	110円
	18:00以降	110円	220円	220円
土曜日	9:00から14:00まで	110円	220円	110円
	14:00から17:00まで	110円	220円	220円
	17:00以降	110円	220円	220円
日曜日・祝日	終日	110円	220円	220円

※ご利用時間は各コーナーにより異なりますのでご了承ください。

※12月31日～1月3日は日曜日・祝日と同じご利用手数料となります。

## 振込手数料等

		3万円未満	3万円以上
同一店内振込	窓口	550円	550円
	ATM	当行カード110円/現金・他行カード440円	当行カード110円/現金・他行カード440円
	《HOKUTO》マイバンク・ネット (インターネット・モバイルバンキング) ほくと法人IBサービス ホームバンキング/ファームバンキング	無料	無料
当行本支店宛振込	窓口	550円	550円
	ATM	当行カード330円/現金・他行カード440円	当行カード330円/現金・他行カード440円
	《HOKUTO》マイバンク・ネット (インターネット・モバイルバンキング) ほくと法人IBサービス ホームバンキング/ファームバンキング	110円	275円
他行宛振込	窓口	880円	880円
	ATM	当行カード660円/現金・他行カード770円	当行カード660円/現金・他行カード770円
	《HOKUTO》マイバンク・ネット (インターネット・モバイルバンキング) ほくと法人IBサービス ホームバンキング/ファームバンキング	418円	638円
送金、振込の組戻料(一件につき)		1,100円	

※カードをご利用の上、お振込みの場合は、時間帯に応じて振込手数料の他に別途ATMご利用手数料が加算になります。

## その他の手数料

代金取立手数料	当行本支店	同一手形交換地域内	一件につき	220円
		上記以外	一件につき	440円
	他行宛のもの	同一手形交換地域内	一件につき	220円
		上記以外	集中取立一件につき	660円
			個別取立一件につき	880円
取立手形店頭呈示料 取立手形組戻料 不渡手形返却料		一件につき	1,100円	
手形・小切手用紙代	当座小切手帳 約束手形 為替手形	一冊につき	2,200円	
再発行手数料	通帳	一冊につき	1,100円	
	証書	一枚につき	1,100円	
	カード	一枚につき	1,100円	
預金残高証明書 融資残高証明書、等	継続発行先残高証明書		一業務につき ※業務の区分:預金・融資・外為・債券	440円
	継続発行先以外	当行制定帳票	一業務につき	660円
		当行制定帳票以外	一件につき	1,100円
		当行制定帳票以外(監査法人向)	一件につき	3,300円
融資証明書		一枚につき	1,100円	
その他の手数料	自己宛小切手発行手数料	一枚につき	550円	

※代金取立手数料のうち、小切手の取立における自店払い(支払場所が受入店と同一の場合)の手数は無料です。

※インターネットバンキング等の手数料、貸金庫使用料・夜間金庫使用料・国債保護預り手数料・その他の手数料等については窓口におたずねください。

※「住宅取得資金に係る借入金年末残高証明書」の発行手数料は無料です。

# 店舗ネットワーク (荘内銀行)

店舗数 88 (本支店: 82、出張所: 5、代理店: 1)



△印は自動機の平日、土曜日稼働店です。◎印は自動機の平日、土曜日、日曜日、祝日稼働店です。  
各店舗・ATMの営業時間については、当行ホームページをご覧ください。

## 田川地区

店舗総数19 (本支店: 16、出張所: 3)

店舗名	所在地	電話番号
◎本店営業部	997-8611 鶴岡市本町一丁目9番7号	0235-22-5211
宝田支店	997-8611 鶴岡市本町一丁目9番7号 (本店営業部内)	0235-22-5211
鶴岡東支店	997-8611 鶴岡市本町一丁目9番7号 (本店営業部内)	0235-22-5211
朝陽町支店	997-8611 鶴岡市本町一丁目9番7号 (本店営業部内)	0235-22-5211
三瀬支店	997-8611 鶴岡市本町一丁目9番7号 (本店営業部内)	0235-22-5211
温海支店	997-8611 鶴岡市本町一丁目9番7号 (本店営業部内)	0235-22-5211
ねがが岡支店	997-8611 鶴岡市本町一丁目9番7号 (本店営業部内)	0235-22-5211
◎北支店	997-0015 鶴岡市末広町9番15号	0235-22-5220
新斎町支店	997-0015 鶴岡市末広町9番15号 (北支店内)	0235-22-5220
◎鶴岡南支店	997-0816 鶴岡市文園町1番6号	0235-22-3323
くしびき支店	997-0816 鶴岡市文園町1番6号 (鶴岡南支店内)	0235-22-3323
本町三丁目支店	997-0816 鶴岡市文園町1番6号 (鶴岡南支店内)	0235-22-3323
◎鶴岡西支店	997-0046 鶴岡市みどり町18番60号	0235-24-3055
鶴岡市役所出張所	997-0035 鶴岡市馬場町9番25号	0235-23-7215
◎大山支店	997-1124 鶴岡市大山二丁目16番33号	0235-64-2107
藤島支店	999-7696 鶴岡市藤島字笹花25 鶴岡市藤島庁舎内	0235-66-4115
◎庄内支店	997-1301 東田川郡三川町大字横山字袖東19番1	0235-66-4115
イオン三川店出張所	997-1301 東田川郡三川町大字横山字袖東19番1 (庄内支店支店内)	0235-66-4115
青果物市場出張所	997-1321 東田川郡三川町大字押切新田字茨谷地50番地	0235-66-4128

## 飽海地区

店舗総数13 (支店: 12、出張所: 1)

店舗名	所在地	電話番号
◎酒田中央支店(仮店舗)	998-0043 酒田市本町一丁目2-52 (酒田共栄火災ビル)	0234-22-5521
酒田東支店	998-0043 酒田市本町一丁目2-52 (酒田共栄火災ビル) (酒田中央支店(仮店舗)内)	0234-22-5521
◎酒田北支店	998-0006 酒田市ゆたか一丁目15番地の16	0234-35-1855
◎新橋支店	998-0864 酒田市新橋二丁目26番地の18	0234-24-1515
◎酒田営業部	998-0834 酒田市若竹町二丁目4番5号	0234-24-3338
緑ヶ丘支店	998-0834 酒田市若竹町二丁目4番5号 (酒田営業部内)	0234-24-3338
若竹町支店	998-0834 酒田市若竹町二丁目4番5号 (酒田営業部内)	0234-24-3338
イオン酒田南店出張所	998-0834 酒田市若竹町二丁目4番5号 (酒田営業部内)	0234-24-3338
◎観音寺支店	999-8235 酒田市観音寺町後33番地の1	0234-64-3322
東部酒田支店	999-6711 酒田市飛鳥契約場30番地 酒田市平田総合支所内	0234-52-3565
平田支店	999-6711 酒田市飛鳥契約場30番地 酒田市平田総合支所内 (東部酒田支店内)	0234-52-3565
◎余目支店	999-7781 東田川郡庄内町余目字町17番地1	0234-43-2455
◎遊佐支店	999-8301 飽海郡遊佐町遊佐字京田103番地	0234-72-2511

## 最上地区

店舗総数5 (支店: 5)

店舗名	所在地	電話番号
◎新庄支店	996-0073 新庄市栄町6番1号	0233-22-1901
真室川支店	996-0073 新庄市栄町6番1号 (新庄支店内)	0233-22-1901
おおくら支店	996-0073 新庄市栄町6番1号 (新庄支店内)	0233-22-1901
◎金山支店	999-5402 最上郡金山町大字金山407番地	0233-52-2005
◎もがみ町支店	999-6101 最上郡最上町大字向町605番5	0233-43-2055

## 山形・上山地区

店舗総数14 (支店: 13、代理店: 1)

店舗名	所在地	電話番号
◎山形営業部	990-0043 山形市本町一丁目4番21号	023-641-6221
山形南支店	990-0043 山形市本町一丁目4番21号 (山形営業部内)	023-641-6221
◎山形営業部 リリー・諏訪町代理店	990-0033 山形市諏訪町二丁目1番3号	023-615-3424
◎北山形支店	990-0052 山形市円応寺町5番7号	023-631-3958
北町支店	990-0052 山形市円応寺町5番7号 (北山形支店内)	023-631-3958
◎霞城支店	990-8580 山形市城南町一丁目1番1号 霞城セントラル2F	023-645-2600
◎県庁前支店	990-0023 山形市松波四丁目1番15号	023-632-4418
◎ときめき通り支店	990-0061 山形市五十鈴三丁目1-10	023-633-3715
鈴川支店	990-0061 山形市五十鈴三丁目1-10 (ときめき通り支店内)	023-633-3715
◎あかねヶ丘支店	990-2481 山形市あかねヶ丘三丁目2番1号	023-644-4466
◎桜田支店	990-2324 山形市青田南24番40号	023-633-2933
◎イオン山形北支店	990-0810 山形市馬見ヶ崎二丁目12番19号	023-682-8521
◎イオン山形南支店	990-2453 山形市若宮三丁目7番8号	023-646-7071
◎上山支店	999-3153 上山市十日町2番4号	023-672-2202

## 村山北地区

店舗総数8 (支店: 8)

店舗名	所在地	電話番号
◎天童中央支店	994-0026 天童市東本町一丁目2番1号	023-654-1311
天童支店	994-0026 天童市東本町一丁目2番1号 (天童中央支店内)	023-654-1311
長岡支店	994-0026 天童市東本町一丁目2番1号 (天童中央支店内)	023-654-1311
◎イオンモール天童支店	994-0082 天童市芳賀タウン北四丁目1番1号	023-665-5496
◎寒河江支店	991-0031 寒河江市本町二丁目8番44号	0237-86-3105
◎楯岡支店	999-0034 村山郡楯岡五日町5番10号	0237-55-2521
◎東根支店	999-3720 東根市さくらんぼ駅南二丁目17番19号	0237-43-4141
◎河北支店	999-3512 西村山郡河北町谷地中央二丁目1番11号	0237-72-7611

## 置賜地区

店舗総数6 (支店: 6)

店舗名	所在地	電話番号
◎米沢中央支店	992-0012 米沢市金池五丁目7番12号	0238-24-5290
イオンタウン南陽支店	992-0012 米沢市金池五丁目7番12号 (米沢中央支店内)	0238-24-5290
イオンタウン米沢支店	992-0012 米沢市金池五丁目7番12号 (米沢中央支店内)	0238-24-5290
◎米沢支店	992-0045 米沢市中央一丁目12番32号	0238-23-3450
米沢西支店	992-0045 米沢市中央一丁目12番32号 (米沢支店内)	0238-23-3450
◎長井支店	993-0006 長井市あら町4番57号	0238-84-2380

## 山形県外

店舗総数22 (支店: 21、出張所: 1)

店舗名	所在地	電話番号
◎仙台支店	980-0021 宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号	022-222-5161
イオン中山支店	980-0021 宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号 (仙台支店内)	022-222-5161
栗生支店	980-0021 宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号 (仙台支店内)	022-222-5161
荒井支店	980-0021 宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号 (仙台支店内)	022-222-5161
イオン石巻支店	980-0021 宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号 (仙台支店内)	022-222-5161
イオン多賀城支店	980-0021 宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号 (仙台支店内)	022-222-5161
◎桂ガーデンプラザ支店	981-3134 宮城県仙台市泉区桂一丁目1番1	022-772-2056
泉中央支店	981-3134 宮城県仙台市泉区桂一丁目1番1 (桂ガーデンプラザ支店内)	022-772-2056
吉岡支店	981-3134 宮城県仙台市泉区桂一丁目1番1 (桂ガーデンプラザ支店内)	022-772-2056
◎長町支店	982-0011 宮城県仙台市太白区長町七丁目19番45号	022-246-3101
名取エアリ支店	982-0011 宮城県仙台市太白区長町七丁目19番45号 (長町支店内)	022-246-3101
ザ・モール仙台長町出張所	982-0011 宮城県仙台市太白区長町七丁目19番45号 (長町支店内)	022-246-3101
◎明石台支店	981-3332 宮城県仙台市明石台六丁目3番6	022-772-8212
イオン仙台支店	981-3332 宮城県仙台市明石台六丁目3番6 (明石台支店内)	022-772-8212
イオン利府支店	981-3332 宮城県仙台市明石台六丁目3番6 (明石台支店内)	022-772-8212
◎秋田支店	010-0921 秋田県秋田市大町四丁目3番18号	018-823-7521
◎福島支店	960-8053 福島県福島市三河南町6番7号	024-534-7191
郡山支店	960-8053 福島県福島市三河南町6番7号 (福島支店内)	024-534-7191
東京支店	103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目4番7号 日本橋室町プラザビル2階	03-5860-9915
吉祥寺支店	103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目4番7号 日本橋室町プラザビル2階 (東京支店内)	03-5860-9915
イオン葛西支店	103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目4番7号 日本橋室町プラザビル2階 (東京支店内)	03-5860-9915
イオン板橋前野町支店	103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目4番7号 日本橋室町プラザビル2階 (東京支店内)	03-5860-9915

## その他

店舗総数1 (支店: 1)

店舗名	所在地	電話番号
わたしの支店	997-8611 鶴岡市本町一丁目9番7号 (4階コンタクトセンター内)	0235-28-2431

(2021年7月31日現在)

# 店舗ネットワーク(北都銀行) 店舗数 86(本支店: 83、出張所: 3)



△印は自動機の平日、土曜日稼働店です。◎印は自動機の平日、土曜日、日曜日、祝日稼働店です。  
各店舗・ATMの営業時間については、当行ホームページをご覧ください。

秋田市内		店舗総数29(本支店: 29)
店舗名	所在地	電話番号
◎本店営業部	010-0001 秋田県秋田市中通三丁目1番41号	(018)833-4211
櫛山支店	010-0001 秋田県秋田市中通三丁目1番41号(本店営業部内)	(018)833-4211
◎秋田駅前支店	010-0001 秋田県秋田市中通二丁目5番1号	(018)833-6171
◎山王支店	010-0951 秋田県秋田市山王六丁目2番8号	(018)865-5055
川元支店	010-0951 秋田県秋田市山王六丁目2番8号(山王支店内)	(018)865-5055
割山支店	010-0951 秋田県秋田市山王六丁目2番8号(山王支店内)	(018)865-5055
◎秋田西支店	010-0973 秋田県秋田市八橋本町三丁目3番23号	(018)863-3161
◎新国道支店	010-0916 秋田県秋田市泉北一丁目3番11号	(018)823-6215
◎泉支店	010-0918 秋田県秋田市泉南二丁目13番25号	(018)824-6178
通町支店	010-0918 秋田県秋田市泉南二丁目13番25号(泉支店内)	(018)824-6178
◎牛島支店	010-0062 秋田県秋田市牛島東六丁目2番11号	(018)835-5421
茨島支店	010-0062 秋田県秋田市牛島東六丁目2番11号(牛島支店内)	(018)835-5421
◎秋田南支店	010-1421 秋田県秋田市仁井田本町五丁目8番25号	(018)839-3355
河辺支店	010-1421 秋田県秋田市仁井田本町五丁目8番25号(秋田南支店内)	(018)839-3355
◎御所野支店	010-1413 秋田県秋田市御所野地蔵田一丁目1番1号(イオンモール秋田内)	(018)826-1161
◎秋田東支店	010-0041 秋田県秋田市広面字高田322番地	(018)837-3111
明田支店	010-0041 秋田県秋田市広面字高田322番地(秋田東支店内)	(018)837-3111
桜支店	010-0041 秋田県秋田市広面字高田322番地(秋田東支店内)	(018)837-3111
広面支店	010-0041 秋田県秋田市広面字高田322番地(秋田東支店内)	(018)837-3111
◎手形支店	010-0864 秋田県秋田市手形住吉町1番27号	(018)832-5076
手形北支店	010-0864 秋田県秋田市手形住吉町1番27号(手形支店内)	(018)832-5076
◎外旭川支店	010-0802 秋田県秋田市外旭川字松崎127番地5	(018)868-1921
△中央市場支店	010-0802 秋田県秋田市外旭川字待合28番地	(018)869-5211
◎土崎支店	011-0946 秋田県秋田市土崎港中央一丁目17番14号	(018)845-1128
高清水支店	011-0946 秋田県秋田市土崎港中央一丁目17番14号(土崎支店内)	(018)845-1128
將軍野支店	011-0946 秋田県秋田市土崎港中央一丁目17番14号(土崎支店内)	(018)845-1128
土崎南支店	011-0946 秋田県秋田市土崎港中央一丁目17番14号(土崎支店内)	(018)845-1128
◎秋田北支店	011-0941 秋田県秋田市土崎港北七丁目5番33号	(018)845-6061
◎新屋支店	010-1638 秋田県秋田市新屋表町10番4号	(018)828-5000

鹿角地区		店舗総数2(支店: 2)
店舗名	所在地	電話番号
◎鹿角支店	018-5201 秋田県鹿角市花輪字下花輪158番地1	(0186)23-3181
毛馬内支店	018-5201 秋田県鹿角市花輪字下花輪158番地1(鹿角支店内)	(0186)23-3181

大仙・仙北地区		店舗総数8(支店: 8)
店舗名	所在地	電話番号
◎大曲支店	014-0024 秋田県大仙市大曲中通町1番14号	(0187)62-4411
仙北支店	014-0024 秋田県大仙市大曲中通町1番14号(大曲支店内)	(0187)62-4411
太田支店	014-0024 秋田県大仙市大曲中通町1番14号(大曲支店内)	(0187)62-4411
◎大曲南支店	014-0046 秋田県大仙市大曲田町1番22号	(0187)62-4422
大曲プラザ支店	014-0046 秋田県大仙市大曲田町1番22号(大曲南支店内)	(0187)62-4422
◎角館支店	014-0318 秋田県仙北市角館町中町38番地1	(0187)54-2141
◎田沢湖支店	014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字街道ノ上87番地の3	(0187)43-1151
◎美郷支店	019-1404 秋田県仙北郡美郷町六郷字馬町78番地	(0187)84-0435

横手地区		店舗総数10(支店: 8、出張所: 2)
店舗名	所在地	電話番号
◎横手支店	013-0021 秋田県横手市大町7番8号	(0182)32-3031
横手支店	013-0023 秋田県横手市中央町8番2号(横手市役所内)	(0182)33-2813
横手駅前支店	013-0021 秋田県横手市大町7番8号(横手支店内)	(0182)32-3031
横手市役所出張所	013-0021 秋田県横手市大町7番8号(横手支店内)	(0182)32-3031
◎横手西支店	013-0060 秋田県横手市条里一丁目13番25号	(0182)33-6020
大森支店	013-0060 秋田県横手市条里一丁目13番25号(横手西支店内)	(0182)33-6020
◎増田支店	019-0701 秋田県横手市増田町増田字七日町127番地	(0182)45-3031
◎十文字支店	019-0524 秋田県横手市十文字町字本町13番3	(0182)42-0044
◎浅舞支店	013-0105 秋田県横手市平鹿町浅舞字浅舞245番地	(0182)24-1301
沼館支店	013-0105 秋田県横手市平鹿町浅舞字浅舞245番地(浅舞支店内)	(0182)24-1301

男鹿・潟上・南秋田地区		店舗総数6(支店: 6)
店舗名	所在地	電話番号
◎男鹿支店	010-0511 秋田県男鹿市船川港船川字栄町102番地	(0185)23-2215
◎船越支店	010-0341 秋田県男鹿市船越字内子81番地1	(0185)35-3311
◎昭和支店	018-1401 秋田県潟上市昭和久保字街道下68番地	(018)877-3130
飯塚支店	018-1401 秋田県潟上市昭和久保字街道下68番地(昭和支店内)	(018)877-3130
◎八郎潟支店	018-1622 秋田県南秋田郡八郎潟町字一日市399番地10	(018)875-3120
五城目支店	018-1622 秋田県南秋田郡八郎潟町字一日市399番地10(八郎潟支店内)	(018)875-3120

湯沢・雄勝地区		店舗総数6(支店: 5、出張所: 1)
店舗名	所在地	電話番号
◎湯沢支店	012-0841 秋田県湯沢市大町二丁目1番13号	(0183)73-3101
湯沢支店	012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号(湯沢市役所内)	(0183)73-5910
楯居支店	012-0841 秋田県湯沢市大町二丁目1番13号(湯沢支店内)	(0183)73-3101
湯沢北支店	012-0841 秋田県湯沢市大町二丁目1番13号(湯沢支店内)	(0183)73-3101
◎福川支店	012-0105 秋田県湯沢市川連町字平城下26番地の3	(0183)42-4855
◎西馬音内支店	012-1131 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字本町46番地4	(0183)62-2100

能代・山本地区		店舗総数5(支店: 5)
店舗名	所在地	電話番号
◎能代支店	016-0825 秋田県能代市柳町11番1号	(0185)52-4343
能代駅前支店	016-0825 秋田県能代市柳町11番1号(能代支店内)	(0185)52-4343
二ツ井支店	016-0825 秋田県能代市柳町11番1号(能代支店内)	(0185)52-4343
◎三種支店	018-2104 秋田県山本地区三種町鹿渡字西小瀬川1162番地1	(0185)87-2711
山本支店	018-2104 秋田県山本地区三種町鹿渡字西小瀬川1162番地1(三種支店内)	(0185)87-2711

由利本荘・にかほ地区		店舗総数8(支店: 8)
店舗名	所在地	電話番号
◎本荘支店	015-0072 秋田県由利本荘市裏尾崎町51番地の2	(0184)22-0531
本荘石橋支店	015-0072 秋田県由利本荘市裏尾崎町51番地の2(本荘支店内)	(0184)22-0531
岩城支店	015-0072 秋田県由利本荘市裏尾崎町51番地の2(本荘支店内)	(0184)22-0531
西目支店	015-0072 秋田県由利本荘市裏尾崎町51番地の2(本荘支店内)	(0184)22-0531
◎本荘東支店	015-0852 秋田県由利本荘市一番塚159番地1	(0184)74-6727
◎仁賀保支店	018-0402 秋田県にかほ市平沢字清水18番地3	(0184)35-2545
◎象潟支店	018-0115 秋田県にかほ市象潟町字後田77番地1	(0184)43-2207
金浦支店	018-0115 秋田県にかほ市象潟町字後田77番地1(象潟支店内)	(0184)43-2207

大館・北秋田地区		店舗総数8(支店: 8)
店舗名	所在地	電話番号
◎大館支店	017-0841 秋田県大館市字大町86番地	(0186)42-2216
扇田支店	017-0841 秋田県大館市字大町86番地(大館支店内)	(0186)42-2216
大館東支店	017-0841 秋田県大館市字大町86番地(大館支店内)	(0186)42-2216
◎大館駅前支店	017-0044 秋田県大館市御成町三丁目6番79号	(0186)42-2522
大館プラザ支店	017-0044 秋田県大館市御成町三丁目6番79号(大館駅前支店内)	(0186)42-2522
◎鷹巣支店	018-3302 秋田県北秋田市栄字前綱85番地1	(0186)62-1352
合川支店	018-3302 秋田県北秋田市栄字前綱85番地1(鷹巣支店内)	(0186)62-1352
◎米内沢支店	018-4301 秋田県北秋田市米内沢字葉師下81番地1	(0186)72-3048

秋田県外		店舗総数3(支店: 3)
店舗名	所在地	電話番号
◎仙台支店	980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目3番1号	(022)221-1201
◎酒田支店	998-0044 山形県酒田市中町一丁目13番8号	(0234)22-3620
東京支店	103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目4番7号 日本橋室町プラザビル2階	(03)3279-0451

その他		店舗総数1(支店: 1)
店舗名	所在地	電話番号
あきたびじん支店	010-0923 秋田県秋田市旭北町2-1	(0120)891-036

(2021年7月31日現在)

# 店舗ネットワーク (荘内銀行)



## 〈専門ショップ〉

### 荘内銀行

◆鶴岡ローンスクエア(鶴岡西支店内) 997-0046 山形県鶴岡市みどり町18番60号	(0235) 25-3399
◆酒田ローンスクエア(酒田北支店内) 998-0006 山形県酒田市ゆたか一丁目15番地の16	(0234) 35-1501
◆山形住宅ローンスクエア(ときめき通り支店内) 990-0061 山形県山形市五十鈴三丁目1番10号	(023) 631-3713
◆天童住宅ローンスクエア(イオンモール天童支店内) 994-0082 山形県天童市芳賀タウン北四丁目1番1号	(023) 652-0451
◆米沢ローンスクエア(米沢中央支店内) 992-0012 米沢市金池五丁目7番12号	(0238) 24-3453
◆宮城ローンスクエア(桂ガーデンプラザ支店内) 981-3134 宮城県仙台市泉区桂一丁目1番1	(022) 341-8505
◆秋田住宅ローンスクエア(秋田支店内) 010-0921 秋田県秋田市大町四丁目3番18号	(018) 823-7630
◆福島住宅ローンスクエア(福島支店内) 960-8053 福島県福島市三河南町6番7号	(024) 534-7193

## ◎荘内銀行を所属銀行とする銀行代理業者の商号、名称又は氏名

リリーほくと商事株式会社

## 〈ATMネットワーク〉

### 田川地区店舗外CD・ATM

■鶴岡市	○主婦の店美原店
○Sモール	○コープ青柳
○荘内病院	○主婦の店新嘉店
○鶴岡高専	○鶴岡市温海庁舎
○鶴岡市庁舎	○ねずが関
○ショッピングセンターボイス	○マックスパリュ藤島店
○主婦の店鶴岡駅前店	○鶴岡市藤島庁舎
○鶴岡協同の家こびあ	○ファミリーマート鶴岡宝田店
○ヤマザワくしびき	○茅原
○主婦の店ミナ店	○三瀬
○マックスパリュ白山店	○イオンモール三川
○主婦の店パール店	○庄内たがわ農協 朝日支所
○ヤマザワ鶴岡店	○鶴岡東
○マックスパリュ鶴岡南店	
○鶴岡市羽黒庁舎	■庄内町
	○ヤマザワ余目店

### 飽海地区店舗外CD・ATM

■酒田市	○錦町
○庄内空港	○コープなかのくち
○日本海総合病院	○ト一屋みずほ通り店
○酒田市役所	○イオン酒田南店
○中町	○酒田市平田総合支所
○セイムス酒田北千日店	○松山
○東北公益文科大学	○緑ヶ丘
○ヤマザワ旭新町店	
○ト一屋 新橋店	■遊佐町
○卸町	○遊佐エルパ

### 最上地区店舗外CD・ATM

■新庄市	○大蔵村役場
△県立新庄病院	○新庄駅舎ゆめりあ
○郷野目ストア検町店	
○ヤマザワ新庄店	■真室川町
○本町	○真室川

### 山形・上山地区店舗外CD・ATM

■山形市	山形県庁
○山形市役所	○山形流通団地
○山形済生病院	○山形県立中央病院
○諏訪町	○ヨークベニマル落合店
○山形大学小白川	○イオン山形南店
○山形西	△済生館病院
○コープ鈴川	
○ヤマザワ北町店	■上市市
	○ヨークベニマル上山店

### 村山北地区店舗外CD・ATM

■寒河江市	○宮脇書店天童店
○チャンピオン寒河江店	○イオンモール天童
○マックスパリュ寒河江西店	
■村山市	■東根市
○村山市役所	○ヤマザワ神町店
■天童市	■河北町
○ららパーク天童	○ヤマザワ谷地店

### 置賜地区店舗外CD・ATM

■米沢市	■南陽市
○ヤマザワ花沢町店	○マックスパリュ南陽店
○舟山病院	
	■川西町
	△公立置賜総合病院

### 山形県外CD・ATM

○イオン仙台中山店	○イオンモール名取
○イオンモール富谷	○イオンモール石巻

◎印：平日、土曜日、日曜日、祝日稼働

△印：平日、土曜日稼働

印なし：平日のみ稼働

各店舗・ATMの営業時間については、当行ホームページをご覧ください。

# 店舗ネットワーク (北都銀行)



## 〈専門ショップ〉

### 北都銀行

- ◆北都ほけんプラザ御所野  
010-1413 秋田県秋田市御所野地蔵田一丁目1番1号 (018)826-1161  
(イオンモール秋田1F 御所野支店内)
- ◆北都ほけんプラザ秋田駅前  
010-0001 秋田県秋田市中通二丁目5番1号 (秋田駅前支店内) (0120)123-865
- ◆北都ほけんプラザ泉  
010-0918 秋田県秋田市泉南二丁目13番25号 (泉支店内) (018)824-6178
- ◆北都ほけんプラザ大館  
017-0044 秋田県大館市御成町三丁目6番79号 (大館駅前支店内) (0186)42-1881
- ◆北都ほけんプラザ横手西  
013-0060 秋田県横手市条里一丁目13番25号 (横手西支店内) (0182)33-6020
- ◆北都ほけんプラザ本荘  
015-0852 秋田県由利本荘市一番塚159番地1 (本荘東支店内) (0184)74-6728

## 〈ATMネットワーク〉

### 秋田市市内店舗外CD・ATM

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>■ 中通・山王・八橋・泉地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎秋田中央ビルディング (秋田西武)</li> <li>△秋田市民市場</li> <li>△中通病院 (共同ATM)</li> <li>秋田県庁 (共同ATM)</li> <li>秋田市役所</li> <li>◎ドン・キホーテ秋田店</li> <li>秋田魁新報社 (共同ATM)</li> <li>◎マルダイ八橋店</li> <li>◎いとく新国道店</li> <li>◎グランマート泉店</li> </ul> <p><b>■ 東通・広面地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎明田</li> <li>◎マックスパリュ広面店</li> <li>◎いとく秋田東店</li> <li>◎ナイス山手台店</li> <li>△秋田大学病院</li> <li>秋田大学 (共同ATM)</li> </ul> | <p><b>■ 檜山・川尻・割山・茨島地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎檜山</li> <li>◎イオン秋田中央店</li> <li>◎いとく川尻店</li> <li>△たけや製パン前</li> <li>◎ナイス割山店</li> <li>◎コープあきた茨島店</li> <li>◎イオンタウン茨島パワーセンター</li> </ul> <p><b>■ 土崎地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎コープあきた土崎店</li> <li>◎イオン土崎港店</li> <li>◎いとく土崎みなと店</li> <li>◎いとく自衛隊通店</li> </ul> <p><b>■ 御所野・新屋・河辺地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎イオンモール秋田</li> <li>◎スーパーセンターアマン御所野店</li> <li>◎プレステージインターナショナル (企業内)</li> <li>◎河辺市民サービスセンター</li> </ul> |
|--|--|

### 能代・山本・潟上・南秋田地区店舗外CD・ATM

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>■ 能代市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ショッピングタウンアクロス能代</li> <li>◎いとく能代北店</li> <li>◎テラタパイパス店</li> <li>◎いとくニツ井ショッピングセンター</li> <li>◎能代駅前</li> </ul> <p><b>■ 三種町</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎山本</li> </ul> | <p><b>■ 潟上市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ナイス追分店</li> <li>◎メルシティ潟上</li> </ul> <p><b>■ 五城目町</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎イオンスーパーセンター五城目店</li> </ul> |
|---|---|

### 大館・鹿角・北秋田地区店舗外CD・ATM

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>■ 大館市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎いとく大館東店</li> <li>◎いとく比内店</li> <li>◎イオンタウン大館西店</li> <li>◎いとく大館ショッピングセンター</li> <li>◎ザ・ビッグ釈迦内店</li> <li>◎ザ・ビッグ大館南店</li> <li>◎イオンスーパーセンター大館店</li> </ul> | <p><b>■ 鹿角市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎いとく鹿角ショッピングセンター</li> <li>◎十和田市民センター</li> </ul> <p><b>■ 北秋田市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎北秋田市合川庁舎</li> </ul> |
|---|---|

### 大仙・仙北地区店舗外CD・ATM

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>■ 大仙市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎イーストモールタカヤナギ</li> <li>◎大曲北</li> <li>◎大曲ショッピングセンター</li> <li>◎イオン仙中店</li> <li>◎大仙市太田支所</li> <li>◎イオンモール大曲</li> </ul> | <p><b>■ 仙北市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ワンダーモールタカヤナギ (角館)</li> </ul> <p><b>■ 美郷町</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎イオンスーパーセンター美郷店</li> </ul> |
|--|--|

### 横手地区店舗外CD・ATM

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>■ 横手市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎横手駅前</li> <li>◎横手市大森庁舎</li> <li>△横手卸センター</li> <li>◎イオンスーパーセンター横手南店</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎よねや南店</li> <li>◎スーパーモールラッキー</li> <li>◎グランマート十文字店</li> <li>◎マックスパリュ新雄物川店</li> <li>◎よねやハッピーモール</li> </ul> |
|---|---|

### 湯沢地区店舗外CD・ATM

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>■ 湯沢市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎湯沢市役所</li> <li>◎イオンスーパーセンター湯沢店</li> <li>◎グランマート湯沢インター店</li> <li>◎よねや千石大橋店</li> <li>◎道の駅おがち</li> <li>◎パザール横堀店</li> </ul> | <p><b>■ 羽後町</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎端縫いの郷</li> <li>◎西馬音内ショッピングセンター</li> </ul> |
|---|---|

### 由利本荘・にかほ地区店舗外CD・ATM

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>■ 由利本荘市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎イオンスーパーセンター本荘店</li> <li>◎グランマート石脇店</li> <li>◎グランマート一番塚店</li> <li>◎マックスパリュ新西目店</li> <li>◎ナイス本荘インター店</li> <li>◎岩城総合支所</li> </ul> | <p><b>■ にかほ市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TDKにかほ工場前</li> <li>◎天ヶ町</li> <li>にかほ市象潟庁舎</li> <li>◎にかほ市金浦庁舎</li> </ul> |
|--|---|

◎印 : 平日、土曜日、日曜日、祝日稼働

△印 : 平日、土曜日稼働

印なし : 平日のみ稼働

各店舗・ATMの営業時間については、当行ホームページをご覧ください。

(2021年7月31日現在)